

平成31年第2回ニセコ町議会定例会 第2号

平成31年3月7日（木曜日）

○議事日程

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 諸般の報告
- 3 議案第14号 平成31年度ニセコ町一般会計予算
(提案理由の説明)
- 4 議案第15号 平成31年度ニセコ町国民健康保険事業特別会計予算
(提案理由の説明)
- 5 議案第16号 平成31年度ニセコ町後期高齢者医療特別会計予算
(提案理由の説明)
- 6 議案第17号 平成31年度ニセコ町簡易水道事業特別会計予算
(提案理由の説明)
- 7 議案第18号 平成31年度ニセコ町公共下水道事業特別会計予算
(提案理由の説明)
- 8 議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算
(提案理由の説明)

○出席議員（10名）

1番 木下裕三	2番 浜本和彦
3番 青羽雄士	4番 斉藤うめ子
5番 竹内正貴	6番 三谷典久
7番 篠原正男	8番 新井正治
9番 猪狩一郎	10番 高橋守

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町長	片山健也
副町長	林知己
会計管理者	千葉敬貴
総務課長	阿部信幸
総務課参事	黒瀧敏雄
企画環境課長	山本契太

税 務 課 長	芳 賀 善 範
町 民 生 活 課 長	横 山 俊 幸
保 健 福 祉 課 長	折 内 光 洋
農 政 課 長	福 村 一 広
農 業 委 員 会 事 務 局 長	
国 営 農 地 再 編 推 進 室 長	藤 田 明 彦
商 工 観 光 課 長	前 原 功 治
建 設 課 長	高 瀬 功 達
上 下 水 道 課 長	石 山 康 行
総 務 係 長	桜 井 幸 則
財 政 係 長	馬 淵 淳
代 表 監 査 委 員	小 松 弘 幸
教 育 長	菊 地 博
学 校 教 育 課 長	加 藤 紀 孝
町 民 学 習 課 長	佐 藤 寛 樹
学 校 給 食 セ ン タ ー 長	高 田 寛 生
幼 児 セ ン タ ー 長	高 井 葉 二
農 業 委 員 会 長	荒 木 隆 志

○出席事務局職員

事 務 局 長	佐 竹 祐 子
書 記	中 野 秀 美

◎開議の宣告

- 議長（高橋 守君） ただいまの出席議員は10名です。
定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（高橋 守君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、議長において1番、木下裕三君、2番、浜本和彦君を指名します。

◎日程第2 諸般の報告

- 議長（高橋 守君） 日程第2、諸般の報告を行います。
地方自治法第121条第1項の規定により、説明のため出席した者は、町長、片山健也君、副町長、林知己君、会計管理者、千葉敬貴君、総務課長、阿部信幸君、総務課参事、黒瀧敏雄君、企画環境課長、山本契太君、税務課長、芳賀善範君、町民生活課長、横山俊幸君、保健福祉課長、折内光洋君、農政課長農業委員会事務局長、福村一広君、国営農地再編推進室長、藤田明彦君、商工観光課長、前原功治君、建設課長、高瀬達矢君、上下水道課長、石山康行君、総務係長、桜井幸則君、財政係長、馬淵淳君、代表監査委員、小松弘幸君、教育長、菊地博君、学校教育課長、加藤紀孝君、町民学習課長、佐藤寛樹君、学校給食センター長、高田生二君、幼児センター長、酒井葉子君、農業委員会会長、荒木隆志君、以上の諸君です。
以上をもって諸般の報告を終わります。

◎日程第3 議案第14号から日程第8 議案第19号

- 議長（高橋 守君） 日程第3、議案第14号 平成31年度ニセコ町一般会計予算の件から日程第8、議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算までの件6件を昨日に引き続き一括議題とします。

提出者からの提案理由の説明を求めます。

副町長、林知己君。

- 副町長（林 知己君） それでは、説明に入ります前に、昨日説明をいたしました内容について一部誤りがございましたので、訂正をさせていただきたいというふうに思います。

平成31年度一般会計予算の歳出で予算書の71ページをお開きください。昨日最後に説明させていただきました7目地域振興費において、地域おこし協力隊と集落支援員の予算について説明させていただきましたが、そのうち地域おこし協力隊については平成31年度は継続者が5名、新規採用者が16名の計21名の予算を計上していると説明をいたしました。そのうち新規採用者ですけれども、16名というふうに昨日説明いたしました。15名の誤りでございます。よって、合計人数も21名か

ら20名の誤りでございます。また、集落支援員については、平成31年度10名と説明をさせていただきましたが、7名の誤りでございます。いずれにいたしましても、予算計上に変わりはございません。以上、訂正をさせていただきます。大変申しわけございません。

なお、配属先ですとか経費の内訳等の詳細につきましては、政策案件説明会において説明をさせていただきます。

それでは、昨日からの続きになります。71ページの下段、8目の自治創生費から説明をさせていただきます。自治創生費は、全体で前年度比1,723万3,000円増の4,276万円の計上です。ここでは中央倉庫群の管理、移住対策を含めた自治創生総合戦略の推進、これまで3年間の調査をさらに進めるローカルスマート交通深化・展開事業、そしてSDGs事業の推進について計上してございます。中央倉庫群の管理につきましては、新たな指定管理者のもと、これまでの貸し館業務を継続しつつ、さらに住民の利活用を促進し、あわせて移住や地域おこし協力隊の募集や調整業務を行います。自治創生の総合戦略は、計画最終年を迎え、協議会の開催や講師を招聘し、平成32年度からの展開について準備を行います。ローカルスマート交通については、3年間の調査を踏まえ、福井地区の助け合い交通の開始、冬場の周遊バスとスキーバスを統合した（仮称）ウインターシャトル、それと既存交通機関の利用向上のため、さらに3年間交通最適化に向けた事業を実施いたします。SDGs事業では、SDGsそのものの理解促進やSDGsモデル事業として取り組んでおります街区整備事業等について計上しております。

それでは、節ごとの内容を説明いたします。72ページになりますが、8節の報償費の講師謝礼43万4,000円につきましては、自治創生に係る有識者講演会22万3,000円、SDGsモデル事業街区整備に関する地元工務店等の研修講師に11万2,000円、SDGsに関する職員研修講師に9万8,000円を計上しております。その下、その他謝礼123万3,000円については、自治創生協議会の委員の謝礼に16万円、自治創生に関する国のコンシェルジュ、環境省の金井氏の招聘費に16万6,000円、ローカルスマート交通深化・展開事業の一環として福井地区で新たに始まります助け合い交通に関する地域ドライバー向けの調査報告会議参加謝礼に24万5,000円、SDGsモデル事業の街区整備推進協議会委員謝礼に21万4,000円、SDGs事業に係る専門家招聘アドバイスに44万6,000円を計上しております。9節の旅費では、普通旅費で前年比33万4,000円増の58万8,000円です。こちらもSDGsに関連し、いずれも東京開催の国際フォーラム、官民連携プラットフォーム推進協議会、事業評価会議に参加する旅費が主な増額要因となっております。特別旅費の新規7万円については、SDGsモデル事業に関する地元工務店等の研修旅費となります。11節需用費の消耗品では、中央倉庫安全管理用バリエード等の消耗品で13万7,000円、自治創生及び女性活躍に係る講演会で8万1,000円、仮称ではありますが、ウインターシャトルの運行備品で3万円、福井地区助け合い交通に係る備品で14万5,000円、SDGs普及啓発資材で3万円を計上しております。12節役務費の手数料として、有識者講演会、女性活躍推進セミナーのチラシで1万2,000円、ウインターシャトル運行開始チラシで3万円、SDGsの関連協議会、展示、町民講座等のチラシで3万6,000円を計上しております。13節の委託料として、NISEKO生活モデル地区構築事業で700万円及び木材等の域内調達率の向上に向けた基礎調査資料1,300万円については、いずれも新たな街区整備に関する委託として2つの事業一

括で地方創生推進交付金を活用する予定でございます。まず30年度においては街区整備の基本的な方向性と議論のたたき台となる基本構想をまとめましたが、本年度はこれをもとに各種専門家や町民を交えて街区の運営方法、基本設計をN I S E K O生活モデル地区構築事業700万円で取りまとめを行います。あわせて、街区整備の際の建築に地元産の木材をできるだけ活用できるよう、地元木材の生産、加工、流通の実態を調べ、地元産木材の活用可能性を調査をいたします。同時に、地元産木材を足がかりに、第2、第3次産業での内部調達率の高いものやサービスの実態を調査し、お金の内部循環を促す方法を検討いたします。この調査につきましては、経済や地元資材活用など内容が広いので、役場内部にプロジェクトチームをつくり、対応することといたします。なお、委託の内容については、別冊の補足資料の11ページにも少し記載はしておりますが、SDGsに関する全体的な予算の詳細につきましては改めまして政策案件説明会で説明をさせていただきます。

続きまして、73ページの一番上となります。中央倉庫群の運営委託料は、管理経費の実態と消費税を考慮し、9万2,000円増の598万円を計上しております。その下、地域公共交通最適化検討業務委託料は、福井地区等の自治会に運行内容、課題等の実態調査を依頼するため39万6,000円を計上、また既存の交通機関を紙ベースでわかりやすく告知するパンフレット作成に26万4,000円の合わせて66万円を計上しております。14節使用料及び賃借料は、NPO法人住んでみたい北海道推進会議が主催をする本気の移住相談会参加の出展会場使用料として15万円、SDGs街区整備に係る地元工務店等の研修用バス借り上げ料として22万8,000円を計上しております。19節負担金補助及び交付金では、中央倉庫が組織するファンクラブに町が法人会員として加盟する負担金として20万円を計上し、中央倉庫の町内団体の利用促進と町民向けイベント等の活性化を図ります。19節の一番下になりますが、地域公共交通最適化検討実証運行事業補助金1,024万7,000円は、地方創生推進交付金を活用し、先ほど説明をいたしましたローカルスマート交通深化・展開事業でこれまで企画環境課が所管しておりました冬期のスキーバス及び商工観光課が所管しておりました冬期の域内周遊バスの運行を一本化し、(仮称)ウインターシャトルとしての実証実験を行う経費となっております。

9目の財政管理費では138万1,000円の計上でございます。

74ページになります。10目の会計管理費では70万4,000円で、変動はございません。

11目の庁舎管理費では、多少の増減がありますが、1,274万9,000円を計上しております。

76ページになります。12目の財産管理費では、前年度公有財産購入費で土地開発基金所有財産取得費1億9,000万余りの計上があったことから、前年比1億785万4,000円減の968万8,000円を計上しております。新規計上は、13節委託料の一番下、分筆測量委託料48万4,000円、77ページの15節工事請負費で役場の公用車車庫の解体工事で37万8,000円、旧ニセコヘリポートの鉄柵の撤去工事で64万3,000円を計上しております。

13目の職員厚生研修費で1,278万3,000円の計上です。前年度と比べて80万円増となっておりますが、本年度の職員研修として前年度実施しました地域リーダー塾派遣研修にかえまして自治大学校研修の予算を計上しております。また、12節の役務費では、新規で講師派遣手数料として40万円の計上です。

78ページでは、14目の自動車維持費645万2,000円の計上で、公用車運転手の嘱託職員賃金として

453万4,000円の計上です。

15目の町民センター費では、前年度から6,905万円増の8,726万7,000円の計上で、西富地区町民センター建設に伴う増額となっております。79ページです。13節の委託料の一番下、西富地区町民センター建てかえ工事の施工監理委託業務で189万2,000円、80ページの15節工事請負費では西富地区町民センター建てかえ工事5,940万円、解体工事で423万4,000円の計上となっております。18節の備品購入費では、西富地区町民センター建てかえに伴い291万1,000円の計上、それら西富地区町民センターの概要につきましては、こちらの別冊の補足資料の10ページに載せてございますので、ごらんをいただきたいというふうに思います。

次に、16目地域コミュニティセンター費では、前年度から40万5,000円増の205万7,000円の計上です。各地区センターの修繕による増額となっております。

17目職員給与費ですが、前年度と比べて2,572万1,000円増の合計8億2,099万8,000円でございます。給与条例に基づき、特別職、一般職員、準職員等の給与及び関連経費となっております。給与全体においては、再任用職員の増、民間から派遣を受けている職員の3カ月分の負担金及び北海道から派遣を受ける職員の負担金を計上しております。81ページ中ほどになりますが、退職手当組合負担金が前年比1,526万7,000円増の8,990万3,000円となっております。退職手当組合の3年に1度の精算に伴う負担金を計上しております。7節賃金におきましても、臨時職員賃金が前年比24万6,000円の増となっております。82ページになります。19節では、先ほど申し上げました北海道派遣職員負担金108万3,000円の計上です。

18目の防災対策費では、前年度と比べて80万5,000円減の合計1,197万4,000円でございます。7節賃金では、嘱託職員賃金511万円、防災の専門員として自衛隊退職者を採用するため、新たに予算計上しております。83ページになります。14節の使用料及び賃借料では、前年度に風向や風速、雨量、気温、湿度など気象情報配信サービス使用料として計上してはいたしましたが、新たに気象観測システムの借り上げ料153万7,000円を計上です。18節の備品購入費では、停電時の対応として各コミュニティセンターへ発電機6台分の180万円を計上しております。なお、いずれも北海道から交付されます原子力防災対策費補助金を活用いたします。

19目の地籍調査費は、前年度とほぼ同額の103万5,000円の計上です。

84ページになります。20目の庁舎等整備費は、前年度と比べて6億2,304万8,000円増の合計7億236万5,000円でございます。9節旅費では、新たに費用弁償として3万6,000円、普通旅費を2万4,000円、特別旅費では20万円をそれぞれ計上しております。13節委託料では、その他業務委託料として30万円を計上、また役場庁舎・防災センター整備施工監理業務委託料として1,270万円を計上しております。15節の工事請負費では、新庁舎の建設事業費として現在概算で6億8,849万円を計上しておりますが、現在実施設計委託業務の作業中でございます。今後設計金額の精査により工事金額が確定いたしますので、確定後、必要に応じて補正も検討してまいりますので、ご理解をお願いいたします。なお、役場庁舎・防災センター整備事業の図面につきましては、別冊の補足資料の6から9ページに掲載しておりますが、これだけ見てもなかなかわかりづらい面もございますので、新庁舎建設実施設計の進捗状況につきましては政策案件説明会でさらに説明をさせていただきます。

21目の諸費は、前年度対比138万4,000円減額で676万4,000円の計上です。

85ページの中ほど、2項徴税費全体では前年度比521万3,000円増の1,522万8,000円の計上でございます。

1目の税務総務費は、前年度より若干増の175万8,000円を計上しております。

86ページの2目の賦課徴収費は、前年度比499万円増の1,347万円を計上いたしました。13節の委託料では、新規として固定資産税評価地鑑定評価委託料124万円、住民税課税支援システム構築委託料として198万9,000円、コンピューター保守点検業務委託料として120万6,000円を計上しております。また、エルタックス共同利用審査システム運用業務委託料では、前年度比37万2,000円増の103万1,000円の計上です。町税の納付書等印刷及び封入業務委託料は、前年度比24万9,000円増の168万9,000円を計上しております。

87ページの中段の3項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費では、前年度比483万7,000円増の1,140万6,000円の計上でございます。88ページの19節まで飛んでいただきまして、19節の一番上になります。北海道自治体情報システム協議会負担金として、協議会で管理運営を行っております住基ネットのCSサーバー、耐用年数経過による更新に伴う負担金のほか、戸籍総合システムのサーバーの共同利用化に伴い、ソフト及びデータセンター使用料及び保守料を負担金として計上したことによりまして、前年度比651万円増の781万2,000円を計上しております。23節では、戸籍総合システムに係る北海道市町村備荒資金組合の譲渡事業償還金227万9,000円の計上です。

2目の中長期在留者居住地届出等事務では、外国人中長期在留者の住民登録異動状況に合わせた経費として交付されます委託料35万円のうち、事務経費として3万円を計上です。

(何事か声あり)

申しわけございません。先ほど88ページの23節で戸籍総合システムに係る北海道市町村備荒資金組合の譲渡事業償還金、誤ってご説明いたしました。正確には227万6,000円の計上でございます。訂正させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、88ページの4項の選挙費になります。4項選挙費、1目選挙管理委員会費では、各種選挙費の計上による大幅な増で1,971万2,000円の計上です。

89ページ、2目の知事道議会議員選挙費で400万4,000円の計上ですが、平成31年4月執行予定の選挙経費でございます。

3目の参議院議員選挙費で865万8,000円、平成31年7月執行予定の選挙経費でございます。

91ページの4目町議会議員選挙費で666万3,000円、平成31年4月執行予定の選挙経費でございます。

92ページになります。5項統計調査費、1目指定統計費ですが、前年度と比べて108万2,000円増の134万6,000円を計上いたしております。平成31年度は、主に工業統計、住宅・土地統計調査を行います。

6項1目監査委員費について、監査委員の役割や財政健全化等の重要課題について学ぶため、町村監査委員全国大会旅費として2名計上しております。前年度とほぼ同額の113万6,000円の計上でございます。

94ページになります。3款民生費ですが、総額については前年度と比べて581万9,000円増の5億3,462万8,000円の計上となっております。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費については、前年度と比べて71万9,000円増の2億2,371万5,000円となります。9節旅費では、新規に東京都等で開催されます福祉自治体ユニット研修会参加旅費2回分を計上しております。特別旅費として、民生委員一斉改選時の視察事業への職員随行旅費として10万円を計上しております。95ページになります、13節委託料では、移動支援委託料、前年度比35万6,000円減の72万円を計上、羊蹄山ろく障害者相談支援事業委託料は前年度より14万4,000円減の196万4,000円の計上でございます。羊蹄山麓7カ町村では、羊蹄山ろく相談支援センターの運営負担をして障害者の相談業務等を行っております。その下、地域生活支援事業、日中一時支援事業ですが、その委託料として98万円を計上しておりますけれども、養護学校卒業後の日中居場所確保のための委託料となります。18節の備品購入費では、OSの変更によるコンピューター機器入れかえ経費として備品購入費として49万9,000円の計上、19節、一番上の北海道自治体情報システム協議会負担金の内訳として、障害者福祉システム保守で前年度比124万5,000円減の66万円を計上しております。96ページになります。中ほどの地域活動支援センター事業負担金では、前年度と比較し14万3,000円増の121万5,000円の計上です。その下、羊蹄山ろく発達支援センター事業負担金では、北海道補助額の減と利用者負担金の減少によりまして各町村での持ち出しが多くなりまして、前年度と比較し22万9,000円増の165万8,000円の計上です。97ページの一番上、ニセコ町社会福祉協議会補助は、前年度比41万8,000円増の2,367万7,000円の計上です。増額の主なものは、人件費で定期昇給分等で41万8,000円の増となっております。上から4段目、地域活動支援センター運営事業費補助金1,200万円で、昨年度職員の処遇改善、新規職員の雇用などを行っておりまして、本年も前年度と同額の補助となっております。生活の家は、ニセコ町での障害者福祉施設の中核を担っておりまして、ますます役割が期待されるところでございます。20節の扶助費、上から3段目、障害者通所福祉手当48万円及び5段目の心身障害児通園福祉手当36万円については、利用実績に伴い、前年度より増額しております。20節の下から3段目、障害者医療給付費では、18歳未満の育成医療費24万円と更生医療費856万8,000円と合わせて、前年度比295万2,000円減の880万8,000円を計上しております。育成医療は、障害者総合支援法に基づき、身体に障害のある児童、18歳未満で、確実に治療効果が期待できる医療を受ける場合にその治療に要する医療費を公費、国2分の1、道、町が4分の1により負担する制度となっております。一番下の介護給付等給付費では、前年度比669万5,000円増の8,269万1,000円の計上です。こちらは、施設入所支援、生活介護など必要な障害福祉サービスの給付を行うため前年実績等から計上しておりますが、介護給付費において報酬単価の増額で493万2,000円の増、共同生活援助の訓練等給付費は4万8,000円、就労継続支援B型訓練等給付費の468万円の減額、生活訓練のための自立訓練が新規で1名おりまして、204万円の増、前年度比669万5,000円増額の計上となっております。介護給付の見込み者数は、障害者で30人、障害児で15人となっております。98ページ、28節の繰出金、国民健康保険事業特別会計繰出金では、保険税軽減分の2,466万4,000円、その他法定分3,117万9,000円を合わせて、前年度に比較し222万2,000円減の5,584万3,000円の計上です。国民健康保険事業特別会計繰出金の任意繰り出し分は、本年度も計上

しておりません。理由といたしまして、北海道への国民健康保険事業納付金を含む後志広域連合への負担金が昨年度と比較して643万6,000円の減額となっていることにより、保険税軽減分や事務費、出産一時金等の繰越金のみとなっております。保険税率は、北海道から提示をされました国民健康保険事業納付金の額とその納付金を集めるために必要な標準保険税率を参考に、不足分が生じないよう納付金を確実に納めることができる保険税率とし、国民健康保険基金の取り崩し、一般会計からの任意繰り出しは行いません。なお、昨年度より一般会計からの繰入額が減となった主な理由につきましては、国民健康保険の都道府県化によりまして北海道が保険者となり、国民健康保険税を含め給付等を判断しており、本町自体は給付費が上がっている状況ですが、北海道全体を考慮した結果、負担金下がっている状況となっております。

2目の老人福祉費において、98ページとなりますが、8節の報償費の一番上、長寿祝金は本年度の支給対象者が昨年と比較し、減る見込みとなっております、喜寿で37人、米寿で28人、白寿4人にお祝金を贈呈をいたします。全体で31万円減の291万円を計上しております。99ページの12節役務費では、成年後見制度利用手数料、前年度と同額の6万9,000円を計上、障害者については社会福祉総務費で計上しております。13節の委託料の一番上、給食サービス事業委託料では、前年より188万8,000円増額の329万3,000円を計上です。現在配食サービスは週1回、ニセコ町社会福祉協議会に委託をし、利用者へ配食を行っております。本年は配食サービスの回数を2回実施することにしておりまして、町内の業者に協力をお願いし、見守りや日常の不足するものの調達などのお手伝いをお願いいたします。99ページの一番下になります。リハビリ指導業務委託料では、前年度比30万4,000円減の50万1,000円の計上でございます。100ページになります。上から3段目の高齢者声かけ支援業務委託料81万8,000円です。その下、地域サークル活動支援ボランティア養成業務委託料31万6,000円の計上となっております。2つ下、認知症初期集中支援事業業務委託料として18万円を計上しております。こちらは、認知症初期段階の40歳以上で在宅で生活し、かつ認知症が疑われる人などを対象に、認知症専門医の指導をもらいながら町内に認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人及びその家族等への初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行います。委託料は、その認知症専門医の在籍している病院と契約となります。その下、高齢者私道除雪委託料は、前年度比53万7,000円増の261万1,000円を計上しております。19節の2段目、後志広域連合負担金6,377万2,000円、前年度と比較し66万円の増額の計上です。内訳といたしまして、後志広域連合の介護保険事業に伴うニセコ町民の保険給付費負担12.5%ですが、そちらが4,918万4,000円、人件費等の事務費の負担で815万6,000円、認定審査会の負担で230万5,000円、公費によります保険料軽減の強化で後志広域連合が保険者を担うことから負担する経費23万3,000円及び介護保険包括的支援事業、地域包括支援センター運営費19.5%で206万3,000円、介護予防事業町負担金183万1,000円を合わせて計上しております。上から4段目、新規でデイサービスセンター浴場用ろ過装置更新事業補助430万9,000円の計上です。デイサービスセンターは、平成9年6月から開業し、21年経過してございます。開業当初から使用しておりますろ過機及び付随しております圧力ポンプなど老朽化しており、交換部品等もないことから、新規ろ過機を設置する経費を計上しております。一番下になります。ニセコ町居宅介護支援事業所の運営事業補助では、前年度と比較し60万7,000円減額の計上

です。101ページが一番上になります。認知症高齢者グループホーム運営事業補助613万1,000円、前年度と比較では99万7,000円の増額となっております。グループホームきら里はツーユニット18人が入居できる施設ですが、増額の理由については、入院などによる部屋の空き期間を少なくし、介護報酬収入の減算がないことを前提に予算措置をしております。近年は介護報酬の改定や入居者介護度の低下、入院に伴う空き部屋などによりまして予定されていた収入が少ない状況となっております。人件費の定期昇給分など支出が伴い、当分の間補填が必要と思われ、運営費の一部を計上しております。20節の扶助費の一番上、老人福祉灯油扶助では、前年度比24万6,000円増の130万2,000円の計上です。本町から他の養護老人ホームに入所した場合に入所施設に施設措置費を支払う老人施設の措置費、ニセコ駅前温泉綺羅乃湯高齢者入館料扶助については、前年度と同額の計上です。

3目の後期高齢者医療費においては、前年度より94万9,000円減の7,640万3,000円を計上しております。19節の負担金補助及び交付金では、後期高齢者医療給付費負担金5,553万7,000円、北海道の後期高齢者医療広域連合の保険給付事業に伴う後期高齢者医療給付費負担金12分の1について本町の過去3年間の保険給付実績を踏まえ、保険給付費で6億371万5,000円、総額6億664万4,000円を見込み、前年度対比で52万4,000円の増となっております。28節の繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金では、後期高齢者医療給付費の軽減分1,647万1,000円、連合共通経費272万6,000円、事務費101万4,000円、合わせて2,021万1,000円の計上で、前年度比143万7,000円減の計上となっております。

4目の国民年金事務費は11万5,000円の計上となります。

102ページになります。2項の児童福祉費は、前年度と比べて52万7,000円増によりまして合計1億1,975万6,000円でございます。

1目の児童措置費ですが、8節報償費の講師謝礼22万3,000円、9節旅費の普通旅費で13万8,000円を計上しております。本年は、ユニセフの子どもにやさしいまちづくりと子どもの権利擁護に関する研修会のため、講師の謝礼やユニセフの子どもにやさしいまちづくり事業実証実験作業部会に引き続き参加する経費、子どもの貧困問題に対応する子どもの未来を応援するワークショップへの参加旅費を計上しております。12節役務費のこども医療費請求事務取扱手数料は、前年度比108万3,000円減の6,000円の計上です。13節委託料では、新規で子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料210万1,000円の計上です。昨年度行いましたニーズ調査業務委託料を経まして、本年度に子ども・子育て支援事業計画の改定を行う委託料の計上となっております。20節の扶助費、こども医療費では、過去3カ間の実績の平均より算定しておりまして、昨年より14万4,000円減の570万円を計上しております。103ページになります。一番上のこども医療費の拡大分では、こども医療費を18歳まで拡大し、医療費の無償化実施分として前年度比19万2,000円増の979万2,000円を計上です。その下、児童手当は、児童数及び転入児童数を見直すなど、前年度対比105万円減の8,010万円を計上しております。その下、未熟児医療費は56万1,000円を計上です。母子保健法に基づきまして、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院治療を受ける場合にその治療に要する医療費を公費、国が半分、道と町が4分の1により負担する制度となっております。

2目の児童福祉施設費の7節賃金では、支援員賃金、前年度対比154万8,000円増の1,723万6,000円

を計上です。ニセコ子ども館において、本年は館長職を主任支援員の中から選任し、館長相当分の賃金を計上しております。通常の主任支援員は月額20万円を基準としておりまして、館長については月額25万円を計上、そのため主任支援員賃金で137万5,000円の増、補助支援員の時給賃金の改定により16万4,000円の増額計上となっております。本年も施設の最大利用定員の70人が利用することになっており、試行ではありますが、日曜日と祝日の開館を予定しており、そのための人件費も計上しております。現在は主任支援員3人、補助員5人の体制となりますが、昨年と同様に日曜日、祝日、2人の人員確保を行い、運用を行います。

続きまして、105ページになります。105ページの4款衛生費、総額では前年度と比べて76万9,000円減の合計3億5,741万9,000円でございます。

1項保健衛生費では、前年度と比べて環境モデル都市アクションプラン策定業務及び中央地区エネルギー面的利用調査検討業務が減となり、新たな委託業務が計上されたことにより、2,285万7,000円減の合計1億3,952万9,000円の計上となっております。

1目保健衛生総務費において19節負担金補助及び交付金の一番上、休日当番病院設置運営費町村負担金は、前年度より4万5,000円増額の306万4,000円の計上です。羊蹄山麓周辺町村の救急対応は、倶知安厚生病院の医師だけでは対応できないため、休日における救急対応の羊蹄医師会や札幌などからの医師派遣への報酬など総額で3,312万円となります。運営費は、羊蹄山麓7町村の協定によりまして、倶知安町が6割、残りの4割を6町村において均等割3分の1、人口割3分の2を負担してございます。上から6段目、倶知安厚生病院産科医師確保事業負担金、前年度比21万円増の74万1,000円、19節の一番下、倶知安厚生病院救急医療等体制整備補助874万3,000円、こちらは倶知安厚生病院の運営費、いわゆる赤字補填として7町村の協定により総額2億円程度として財政支援することとしておりますが、精神医療分の財政支援が北海道より支援していただいております、2億円より北海道支援分8,352万円を差し引きました1億1,648万円を倶知安町が7割、残りの3割を6町村において均等割3分の1、人口割3分の1、患者割3分の1の負担割となりまして、本町は前年度に比べて6万円の減の計上でございます。なお、その負担額のうち、昨年度は549万6,000円が特別交付税措置をされております。28節の繰出金では、簡易水道事業特別会計へ前年度比3,268万3,000円増の6,453万6,000円の計上です。

2目の予防費において、106ページになります。12節役務費では、各種検診手数料で588万7,000円となっております。各種検診手数料につきましては、昨年度の実績に合わせ、ほぼ同額の予算となっております。日ごろから検診の呼びかけや受診率の向上に努めてまいります。107ページ、13節委託料の下から3段目、子ども向け定期予防接種業務委託料は、対象年齢2カ月から5歳未満のヒブワクチン、肺炎球菌、四種混合、水ぼうそうなどの委託料で、前年度比19万1,000円増の721万2,000円を計上しております。また、子ども向け任意予防接種業務委託料は前年と同額の196万1,000円、インフルエンザ予防接種では6カ月からの接種へ拡大しております。一番下、助産師訪問産後ケア業務委託料として前年度比42万円増の146万円の計上です。19節の北海道自治体情報システム協議会負担金では、新規で169万5,000円の計上です。20節の一番下、不妊不育治療費扶助については、不妊で悩んでいるご夫婦の不妊治療に一定の基準を設け助成を行い、経済的負担の軽減を図るため、不

妊治療に加え、妊娠しても子どもが育たない不育治療にも助成を行い、155万円の予算を計上しております。内容については、特定不妊治療と不育治療でありまして、北海道で実施している助成が受けられ、残りの自己負担分の一部を負担するものです。本年度は助成の対象を拡大し、北海道助成外の方に自己負担金の一部を負担いたします。108ページになります。一番上で、新規で新生児聴覚検査料扶助32万円の計上です。出産後間もない新生児時期に聴覚異常を早期に発見し、早期治療に結びつけるために新生児聴覚検査に係る料金8,000円を上限に助成をいたします。

3目の環境衛生費では、12節で新たに計上いたしました測量作業手数料13万円は、国道5号の用地確定に伴い、地域墓地の一つであります大曲墓地と隣接地の境界を確認するものでございます。109ページの19節のニセコ町衛生組合連合会補助5万6,000円は、連合会活動事業等のための予算計上です。その下、合併処理浄化槽設置整備事業補助は、対象数を前年同様の15基とし、浄化槽規模により補助額は前年同額の713万円を計上しております。

同じく109ページのニセコ斎場費では、11節需用費の消耗品で前年度比18万6,000円増の24万1,000円の計上です。110ページの15節工事請負費では、ニセコ斎場外部電源切りかえ盤取り付け工事33万3,000円の計上となります。こちらは、防災対策による取り付け工事となります。

5目の保健師設置費において、町民の乳幼児から高齢者までの健康支援のための事務経費として185万円を計上です。保健師、管理栄養士の専門研修旅費や各種会議の参加、各団体への加入によりまして情報収集を図るなどの経費を計上しております。7節では、代替保健師賃金を120万9,000円計上しております。なお、前年度に臨時管理栄養士を雇用するための賃金を計上しておりましたが、職員採用により減額しております。

6目の保健衛生普及費においては、各行政区に保健委員を配置し、各種保健、健診事業、講習会への参加を奨励するなどの連絡調整経費として36万6,000円の計上です。

111ページになります。7目の環境対策費、前年度と比べて5,586万8,000円減の合計1,554万5,000円でございます。1節の報酬ですが、環境モデル都市としてアクションプランなどの計画の進捗管理を行うため、環境審議会等の委員報酬31万4,000円を計上しております。9節の費用弁償では、アクションプラン実行のための環境エネルギー戦略アドバイザー費用弁償を13万4,000円増の26万3,000円を計上しております。13節の委託料では、環境モデル都市第2次のアクションプランに位置づけました新規事業として、地域新電力会社の設立調査委託料1,297万5,000円を計上しております。このたびの環境モデル都市第2次アクションプランでは、経済発展と低炭素を両立すべく、今後さまざまな取り組みを実施をいたしますが、新電力会社も取り組みの一つとして位置づけ、ガスコージェネレーションを基本に新たに街区、新庁舎、綺羅乃湯周辺への熱と電気の供給を想定しておりまして、本年度は新電力会社の規模、採算性、収支など実行スキームを検討いたします。検討に当たっての考え方については、別冊、補足資料の12ページをごらんいただきたいというふうに思います。この辺の詳細につきましても別途ご説明をさせていただきます。なお、この委託経費につきましては、環境省の低炭素な地域づくり形成事業補助金10分の10を活用いたします。

112ページになります。2項清掃費は、前年度と比べて2,208万8,000円増の合計2億1,789万円となっております。

1 目の清掃総務費、14節ではごみ分別エコ活動推進アプリサービス使用料で前年度比57万円増の76万7,000円の計上ですが、ごみ分別の検索や収集日をお知らせするスマートフォン用のごみ分別アプリの運用に取り組みます。

2 目の塵芥処理費は、前年度と比べて842万6,000円増の合計1億6,581万3,000円となっております。11節需用費の消耗品では、前年度比177万3,000円の1,164万6,000円となっております。113ページになりますが、13節委託料の一番上、資源物残渣の運搬業務委託料では新規で10万9,000円……
(何事か声あり)

失礼いたしました。112ページの2目の塵芥処理費の112ページの下から2段目です。消耗品では1,164万6,000円と申し上げましたが、1,164万5,000円の誤りでございます。訂正をさせていただきます。

113ページ、繰り返します。13節の委託料では、一番上、資源物残渣運搬業務委託料で新規で10万9,000円、その下、じんかい収集業務委託料は前年度と比べて323万4,000円増の7,000万円を計上しております。その2つ下、空き瓶、ペットボトル分別保管業務委託料は、前年度と比べて142万6,000円増の1,923万9,000円を計上、なお今年度から確実な国内リサイクルを推進するため、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会への引き渡しを行うこととしております。3つ下の羊蹄山麓地域一般廃棄物可燃ごみ処理業務委託料は、前年度と比べて338万6,000円増の3,985万5,000円を計上です。その下、新規で羊蹄山麓地域廃棄物可燃ごみ質展開検査分析業務委託料16万5,000円です。下から2段目になりますが、一般廃棄物不燃、粗大ごみ処理業務委託料621万3,000円を計上しております。民間事業者の最終処分場に埋め立てを委託するものでございます。114ページ、上から2段目の浸出水処理施設の維持管理業務委託料は、浸出水処理を行うための資材、活性炭取りかえに係る経費により、76万6,000円増の369万円を計上しております。その下、最終処分場施設管理業務委託料は、前年度比17万1,000円減の137万4,000円です。必要最小限の維持管理及び施設内の除雪経費を計上しております。18節の備品購入費では、ごみステーション用ダストボックスを前年より2台減の3台とし、54万円減の81万円を計上です。19節負担金補助及び交付金では、堆肥センター生ごみ、下水道汚泥処理負担金、前年とほぼ同額の537万8,000円を計上、蘭越町粗大ごみ処理施設維持管理業務負担金は134万5,000円減の245万8,000円を計上しております。

下段、3目のし尿処理費は、羊蹄山麓衛生組合、羊蹄衛生センターの業務運営費3,296万円、遠隔地の収集運搬費補助890万1,000円、し尿収集運搬車の更新補助918万1,000円で、前年度比1,500万9,000円増の合計で5,104万2,000円の計上でございます。前年度と比べまして、業務運営費578万5,000円、遠隔地収集運搬費補助4万3,000円の増、またし尿収集運搬車が経年劣化により更新するため、新たに918万1,000円の増となっております。

115ページ、5款1項1目労働諸費、前年度とほぼ同額の213万3,000円の計上でございます。

116ページになります。6款農林水産業費、総額については前年度と比べて2,325万2,000円減の合計1億7,921万8,000円となっております。

1項の農業費については、前年度比2,630万7,000円減の1億6,410万4,000円でございます。

1目農業委員会費においては、今年度は農業委員の活動に伴う報酬増、農業委員の道外視察の実

施による特別旅費等の計上などにより、農業委員会費は前年度と比べて35万4,000円増の合計1,003万5,000円となります。1節報酬は、農業委員の活動がふえる見込みのため、日額の報酬払いがふえることにより前年度と比べて52万5,000円増の513万6,000円となります。なお、本報酬は、農地利用適正化推進交付金の活用により補填されます。9節旅費では、農業委員の道外視察研修のための特別旅費として77万2,000円を計上しております。117ページ、19節では農地台帳のバージョンアップ費用と保守管理費用として北海道自治体情報システム協議会負担金59万2,000円を計上いたします。

2目の農業総務費において、前年度比較109万5,000円増の260万6,000円を計上しております。8節の報償費では2020年度の改選に向けて農業委員の選考に伴う評価委員の謝礼として4万9,000円を新たに計上し、9節旅費でも農業委員の選考に伴う評価委員の費用弁償として新たに3,000円を計上しております。また、特別旅費では、農政課の職員が地域農政未来塾を受講することによる旅費として68万円の計上、117ページの一番下、19節では研修負担金として20万円を新たに計上いたします。

118ページ、3目の農業振興費においては、前年度と比べて1,520万2,000円減の2,630万7,000円を計上しております。8節の報償費では転入者増加に伴い、消費拡大用のニセコ米のPR費用、9万7,000円増の30万1,000円を計上、9節の旅費では国見町での国見道の駅大交流祭り及びくにも産業祭に出展するための旅費として41万4,000円……

○議長（高橋 守君） 説明を中止してください。

この際、午前11時25分まで休憩したいと思います。

休憩 午前11時14分

再開 午前11時25分

○議長（高橋 守君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明を続けてください。

○副町長（林 知己君） それでは、118ページの9節の旅費からでございます。9節の旅費では、福島県国見町での国見道の駅大交流祭り及びくにも産業祭に出展するための旅費として41万4,000円を計上いたします。また、関連して、119ページの19節の上から3段目の農産物販売促進事業補助では、ニセコビュープラザ直売会の職員にも国見道の駅大交流祭りに研修参加してもらう費用等として25万6,000円増の30万6,000円を計上しております。その2つ下、5段目のニセコ町農業青年会事業補助では、青年たちが育てた農産物を直売するイベントに参加するため、本年は21万6,000円を計上いたします。19節の下から4段目、経営所得安定対策推進事業補助では、水田農業情報システムがDVD版からクラウド版へ移行することに伴い、前年度比11万4,000円増の402万4,000円を計上しております。その下、中山間地域等直接支払事業は、継続して3集落の事業を行うため、994万9,000円を計上しております。その下、青年就農給付金の給付対象者が減少したため、1,050万円減の675万円を計上しております。この事業につきましては、平成24年度からの国の事業

で、一定の条件のもと、就農直後5年以内の農業者に年間150万円、新規夫婦就農に225万円の交付金が交付されるもので、財源は全額道補助金が充当されます。平成31年度は、夫婦就農3組を含む5件分を見込んでおります。また、平成26年度から新たに環境保全型農業直接払いの事業に取り組んでおります2戸の農業者が平成31年度も前年度同額の99万4,000円を計上しております。

次に、4目の畜産業費では、前年度から微減で140万6,000円の計上となっております。

120ページの5目の草地管理費では、121ページの13節委託料の中の草地作業委託料について、国営農地整備で活用していた4牧区を再活用するため、追肥用肥料が必要となることから、14万円増の359万6,000円となっております。また、14節では、町営牧場で利用するトラクターの借り上げ料を見直したことにより、24万4,000円増の38万4,000円を計上、18節備品購入費では老朽化した牧草ロール給餌用かごを更新するための費用13万2,000円を新たに計上しております。全体としては、前年度とほぼ同額の609万1,000円の計上となります。

121ページ、6目の農地費では、1,424万8,000円減の9,621万6,000円の計上となっております。6年目を迎えました国営事業に係る換地業務の事務経費として委員報酬や費用弁償、業務委託料のほか、町単独事業の補助金、促進期成会の補助金等を計上しております。122ページです。12節の役務費では、昨年引き続き土壌診断手数料として9万9,000円、13節委託料では換地計画等作成業務委託料、前年度比50万円減の400万円を計上しております。123ページ、19節の上から2段目、町の単独事業として明暗渠掘削特別対策事業を継続して実施するため、50万円の計上、農業用水路補修事業補助に前年度比100万円増の130万円を当初予算として計上しております。多面的機能支払交付金は、対象農地の精査によりまして前年比54万2,000円増額の3,918万2,000円を計上しております。中心経営体農地集積促進事業交付金では、国営事業の夏期施行に伴う所得補填として農業事業者に交付いたしますが、前年度比1,355万7,000円減の3,671万9,000円を計上しております。この制度は、関係農業事業者から交付金の45%を負担金として徴収し、55%の道経由の国補助を受け、合わせて農業事業者に交付するものでございます。

7目の水田農業振興費では、クリーン農業推進事業補助を継続して実施いたします。なお、平成31年度は面積を拡充し、前年度比42万円増の357万円の補助を行います。

8目の担い手対策費について、これまで同様50万円を計上し、農業後継者の婚活支援を継続いたします。

9目の農業者年金費について、昨年実績等を踏まえて28万1,000円の計上。

10目の農業経営基盤強化促進対策費では、124ページの21節になりますが、21節貸付金の新規就農資金貸付金では、1人につき100万円で4名分で400万円を見込んでおります。

11目の土づくり対策費、13節の堆肥センター管理委託料については、原料牛ふん運搬費、トン当たり648円と水分調整剤補助分のトン当たり324円を委託料として指定管理者であるJAに支払うもので、前年度実績を勘案し、469万3,000円を計上です。19節、平成31年度も引き続き完熟堆肥導入のための補助を行います。本年度は、単価改正によりトン当たり単価1,500円の補助となり、前年度比45万5,000円増の351万円を計上しております。また、農地の地力を向上させるとともに、ニセコ町地域の景観対策として引き続き緑肥作物の奨励事業を継続する費用として226万1,000円を計上し

ております。ニセコ町の農産物の安心、安全対策の一環として、引き続き土壌診断事業を継続実施し、前年度比7万6,000円増の32万2,000円も計上しております。有機質資源確保の事業補助は、原料牛ふんを円滑に収集するための事業補助として87万円を計上しております。

2項の林業費においては、前年度と比べて305万5,000円増の1,511万4,000円となっております。

1目林業振興費の8節報償費では、昨年春に熊の出没があったため、その対応として前年比6万円増の12万円の計上、125ページの13節において、有害鳥獣を駆除するため引き続き北海道猟友会倶知安支部ニセコ部会に業務を委託いたしますが、有害鳥獣被害が拡大している状況から、その対策に講ずる予算として前年度比47万5,000円増の267万3,000円を計上しております。また、18節の備品購入費においては、アライグマ、鹿などの被害が増加する傾向にあることから、くくりわなと箱わなを購入する費用として前年度比25万1,000円増の112万1,000円を計上です。19節の3段目、森林作業員就労条件整備事業負担金22万5,000円、2つ下、引き続きニセコ町内の森林保全管理活動を行う団体に対して、森林手入れ等を行うための事業補助として森林山林多面的機能発揮対策負担金55万円を計上いたします。また、その2つ下、狩猟免許取得のための受講料等を補助する費用として20万4,000円を引き続き計上するほか、農業者などがみずから有害鳥獣に対策する場合にその資材を購入する費用に補助するための予算として80万円を計上、合わせて100万4,000円を計上しております。その下、未来につなぐ森づくり推進事業補助は、計画事業量の増加により248万4,000円の予算を計上しております。

2目の町有林造成費において126ページの13節の間伐事業委託料では、峠地区8.73ヘクタールで搬出間伐の実施を予定し、前年比20万4,000円増の268万4,000円の予算を計上しております。なお、歳入の17款の財産売払収入の立木売払収入で搬出間伐による立木売り払い代金121万5,000円を見ております。その下、町有林作業道の補修業務委託料では、峠第2団地の除間伐を実施するため、作業道を改修する費用として2,740万円を計上し、通常の作業道の補修と合わせて324万円を計上しております。

127ページの7款商工費、総額については前年度と比べて267万8,000円増の合計1億1,458万9,000円となっております。

1項商工費、1目商工業振興費において19節の商工業振興事業補助は、ニセコ町商工会運営のための補助金1,392万7,000円で、前年より57万2,000円の増額となっております。これは、人件費のベースアップが主な理由でございます。次に、ポイントカード普及拡大事業補助は、子育て支援施策でもありますキッズカード事業の一部を補助する131万円、次に平成23年から継続して実施しております起業、空き店舗活用等を支援するにぎわいづくり起業者等サポート事業補助は300万円の計上です。

2目の観光費では、9節旅費の普通旅費では自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会などを新たに計上したことにより、前年度比27万8,000円増の122万6,000円の計上です。11節の需用費の消耗品費147万5,000円の内数として、ニセコ山系観光連絡協議会が発行するパンフレットの購入で80万円、イベント景品等22万5,000円を計上です。128ページの印刷製本費は、前年度比59万1,000円の増額で、268万2,000円の計上です。ニセコ町観光ガイドブックや温泉ガイドを作

成をいたします。12節役務費の除雪作業委託料では、前年度比11万9,000円増の83万1,000円、管理作業委託料では前年度比25万7,000円増の56万4,000円を計上しております。13節の委託料では、上から2段目、観光案内業務委託料では前年度比21万9,000円増の847万6,000円、129ページの一番上、新規でふるさと眺望点後継樹の育成業務委託料17万6,000円を計上、その下、研修旅行商品作成委託料100万円では、地域おこし企業人プログラムの一環として観光協会に派遣されているJTB職員によるチームビルディングによる研修コンテンツの確立を目指すものでございます。その下、観光コンテンツ創出事業は前年比33万3,000円増の434万円の計上、継続して取り組んでおります星空を新たな観光資源として確立を図るもので、財源は北海道のいきいきふるさと推進事業補助金100万円を予定しております。15節工事請負費で計上いたしました観光看板塗装修繕工事27万7,000円は、中央地区入り口交差点のニセコ大橋側に設置された案内看板を修繕するものです。綺羅乃湯施設の改修工事392万3,000円では、ヒノキ風呂の改修を行います。ニセコビュープラザ営繕工事78万2,000円では、強い雨が降ると排水があふれるフリースペース棟の軒下排水溝を改修いたします。五色温泉インフォメーションセンター営繕工事70万3,000円では、壊れた手すりを改修いたします。130ページ、19節の中ほど、アンヌプリ地区雪崩事故防止対策協議会負担金として前年度比140万円増額の240万円を計上です。本協議会ではニセコルールの運用を行っており、雪崩情報の作成や調査などのほか、ゲートでの啓発活動なども行っております。これらの経費については、行政、スキー場が負担しているところですが、本年度は新たに気象観測装置の整備を予定しており、人件費等の見直しなども見込まれることから、増額計上しております。次に、下から2段目、ニセコ観光圏協議会負担金は610万円増の909万2,000円を計上です。観光圏は、倶知安町、ニセコ町、蘭越町の3町により広域事業として実施しております。例年協議会の運営や各種調査などの共通事業経費として300万円程度を計上しております。昨年度には補助事業制度の変更が行われたため、その内容が見えない中、制度変更を見越して事業費の一部を委託料として別計上いたしました。しかしながら、新制度においても従前と同様の取り扱いが運用上適当であることから、着地型旅行整備事業に係る負担金622万6,000円を協議会負担金に含め、計上しております。一番下の自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会負担金1万円を新たに計上しております。

131ページが一番上、昨年設立し、羊蹄山麓地域の町村が参画する羊蹄ニセコ自転車走行協議会の負担金5万円、日本温泉協会負担金4万円を新たに計上しております。3段目に、本年9月にニセコ町で開催する日本風景街道大学の開催負担金100万円を計上しております。その下、継続事業であります地域DMO推進事業負担金850万円を計上、こちらはマーケティングや事業立案のスキルを持った人材の派遣を受けるものです。国が進めます地域おこし企業人交流プログラムを活用し、特別交付税による財源充当を予定しております。その下、道の駅機能性・魅力向上支援事業補助では前年比732万8,000円増の902万4,000円を計上です。昨年経済産業省の補助を受けて実施する予定でした事業が不採択となったため、改めて町予算によりCO₂排出削減と利用者の利便性向上を図るため、ニセコビュープラザの冷蔵庫の入れかえに係る経費を補助いたします。その下、観光振興事業補助に170万円を計上、地域内では各種イベント等を開催しておりますが、その運営に苦勞をしております。観光協会では、さまざまな団体等が行うこれらの事業運営を支援し、地域における新たな

魅力づくりに寄与しておりますが、これらの仕事は収益を得られるものではないため、事業実施に当たり必要な費用の一部を補助をいたします。ニセコハロウィン事業補助で50万円を計上、秋の風物詩となりましたニセコハロウィン事業の費用の一部を補助いたします。その下、各種学会やシンポジウムなどを町内で開催することを支援するMICE受入支援事業補助に30万円を新たに計上です。

3目の消費行政推進費については全体で480万7,000円、平成22年から羊てい地域消費生活相談窓口を広域7町村で設置しております。事務局は輪番制としており、現在は京極町が担当しておりますが、窓口業務はニセコ町商工観光課内に設置することとしており、今後もそのように運営してまいります。最近窓口寄せられる相談は、公的機関の名称をかたった架空請求のはがきが送られてきたですとか、インターネットショッピングに関するトラブルなどが多くを占めております。

133ページになります。8款土木費、総額については前年度と比べて5,164万5,000円増の合計5億7,397万2,000円となっております。

1項土木管理費、1目土木総務費については、前年度とほぼ同額の計上です。

2項道路橋梁費では、前年度と比べて3,272万8,000円増の合計3億1,863万3,000円となっております。

2目の道路維持費において、135ページ、15節の工事請負費では、道路補修工事として側溝改修及びその他緊急補修工事費として前年度比67万8,000円増の331万4,000円の計上、区画線補修工事では前年度比135万円増の264万6,000円の計上、新規で道路交通安全施設補修工事234万3,000円の計上です。こちらは、ルベシベ通のガードケーブル180メートルを補修いたします。17節では、道路用地購入費として105万円、町道旧宮田農場通の道路敷地の一部が未処理となっているため、用地を購入する経費を計上です。

3目の除雪対策費において13節、町道等除雪委託業務では、126.9キロメートルの町道除雪のほか、役場庁舎等公共施設の駐車場等の除雪費用について前年度比1,587万5,000円増の1億5,069万6,000円を計上です。なお、除雪に係る財源として、社会資本整備総合交付金、除雪事業交付金として2,550万円を見込んでおります

136ページの4目の道路新設改良費では、こちらは工事の箇所図につきまして別冊の補足資料の4ページにも箇所図を載せてございますので、あわせて参考として見ていただければと思います。15節の工事請負費では、社会資本整備総合交付金を活用いたしました町道羊蹄近藤連絡線の歩道整備工事費2,865万8,000円を計上です。本年は整備延長95メートルを見込んでおります。次に、町道羊蹄近藤連絡線舗装長寿命化改良工事は、3年計画の2年目となります。本年は500メートルの施工を見込み、3,194万円の計上です。次に、町道ルベシベ通改良舗装工事では、計画延長370メートルのうち、昨年300メートルの舗装工事が完了しております。本年度は70メートルの整備を見込み、1,351万円を計上、その下、町道近藤七線通改良舗装工事費を新たに計上し、地域住民から要望のある砂利道380メートルについて辺地債を活用しながら2年計画で改良舗装いたします。本年は150メートルの施工を見込み、1,152万8,000円計上しております。そのほか、道路遮断工の改修工事182万9,000円、また早急に措置する必要がある小規模な工事に対応するため、その他土木工事として300万円を計上

しております。なお、今後の説明の中で主要な工事等の箇所図につきましても補足資料の4ページ、5ページに箇所図として掲載しておりますので、参考までにご確認をいただければというふうに思っています。

5目の橋梁維持費については、137ページの13節委託料、長寿命化計画に基づく橋梁点検7橋分と改修設計委託料1橋分で合わせて1,070万円を計上しております。また、15節の工事請負費として、路面が著しく劣化したしました西山滝台連絡線宮前橋、曾我神社付近の宮前橋の防水舗装を行うため、橋梁改修工事2,131万円を計上しております。いずれも社会資本整備総合交付金を利用して実施いたします。

3項の河川費、1目河川維持費については、前年度比505万1,000円増の848万7,000円の計上です。15節の工事請負費では、河川関係施設維持工事として、ニセコアンベツ1号川の護岸補修費用608万3,000円、字里見の愛媛川の護岸補修費用として177万1,000円を見込み、合わせて785万4,000円を計上です。なお、アンベツ川については防災・減災緊急対策事業債を活用いたします。

137ページからです。4項1目公園費、13節委託料、委託料は138ページになりますが、委託料の下段、農村公園再整備基本計画策定業務委託料157万1,000円を新規で計上です。平成元年にオープンいたしましたちびっ子広場の噴水池が30年経過し、老朽化により補修できない状態となっていることから、噴水周辺を再整備する基本計画を作成いたします。15節の工事請負費では、各公園施設等の修繕工事として前年度比100万円増の136万6,000円を計上です。公園内の暗渠排水工事を行います。

5項都市計画費では、139ページ、19節の綺羅街道突き出し看板設置補助金60万円を新たに計上です。ニセコ綺羅街道が平成14年に整備され、統一感ある町並みが形成されています。この町並みを維持するため、新たに商店を営む方などに対し、看板製作費に対する補助制度を創設いたします。当初予算では1件当たり補助金額30万円の2件分を見込んでおります。

6項下水道費、1目下水道整備費において、公共下水道事業特別会計繰出金については30年度と比べて857万2,000円増額の1億3,674万1,000円を計上してありまして、詳細は特別会計で説明いたします。

7項住宅費については、前年度と比べて231万8,000円増の9,368万6,000円を計上いたしました。

140ページの1目住宅管理費において15節の工事請負費の公営住宅修繕工事では、前年比173万3,000円減の515万4,000円の計上でございます。こちらの内容は、補足資料の5ページにも載せてございますが、望羊団地の街路灯の塗装工事36万8,500円、有島団地の窓の雪止め柵の取り付け工事110万円、望羊団地の受水槽棟屋根塗装工事224万4,000円、中央団地、望羊団地の非常用照明改修工事144万1,000円を予定してございます。

2目の住宅建設費において13節の委託料では、公営住宅等長寿命化計画策定業務委託料330万円の計上です。平成26年度に策定いたしました計画書の改訂版、5年ごとになりますが、改訂版の策定いたします。141ページの上段、一番上になりますが、新規で公営住宅新団地整備基本計画の策定業務委託料330万円の計上、こちらは高齢者向け住宅のサービスつきミスマッチ解消と不足しております子育て世帯に対する住宅を供給するため、新たな町営住宅団地を整備する基本計画を策定いたし

ます。15節の工事請負費について、こちらも補足資料の5ページを参考としていただきたいと思います。公営住宅等長寿命化計画に基づきまして国の社会資本整備総合交付金を活用し、公営住宅個別改善工事を引き続き実施をいたします。まず、有島団地3号棟の長寿命化型複合改善工事で4,177万8,000円、望羊団地D棟、F棟の長寿命化型改善工事、ベランダ防水工事で635万8,000円、工事費の合計は対前年比189万3,000円減の4,813万6,000円を計上いたしました。

3目の住環境整備費の19節では、環境負荷軽減モデル集合住宅整備事業補助1,800万円の計上、断熱や遮音性能の高い民間集合住宅の建設を誘導するため、戸当たり150万円の補助を限度額とし、12戸分を予算計上しております。なお、30年度においては執行見込みがない状況でございます。

142ページになります。

○議長（高橋 守君） 説明を中止してください。

この際、午後1時まで休憩いたしたいと思います。

休憩 午後 0時04分

再開 午後 1時00分

○議長（高橋 守君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明を続けてください。

○副町長（林 知己君） それでは、142ページの9款消防費でございます。消防費の総額につきましては、前年度と比べて5,095万円増の合計2億2,689万6,000円となっております。

1項1目消防費については、別冊で羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署予算明細書がありますので、こちらの資料に沿って説明してまいりたいと思いますので、こちらをごらんいただきたいというふうに思います。消防の資料2つございます。2つあるうちの枠で囲った部分、ニセコ支署予算明細書というほうでございます。ニセコ支署の予算明細書ですけれども、おめくりいただきまして1ページ、2ページ、歳入歳出を総括している表でございます。

3ページをお開きください。3ページの一番上、共通経費については、共通経費負担金が33万8,000円増となり、1,933万2,000円となっております。

続きまして、ニセコ支署費についてですが、職員の人件費や消防用のホース、山岳救助に要する装備や今年度は退職手当組合の精算年に当たり、425万8,000円の増などにより1億4,249万8,000円の計上でございます。

それから、5ページに進んでいただきまして、ニセコ消防団費ですけれども、こちらは油圧救助器具の購入経費460万1,000円を計上し、全体で1,642万8,000円の計上でございます。

次に、6ページのニセコ支署施設費についてですが、消防ポンプ自動車の更新費等による大幅な増額により4,763万5,000円の計上でございます。

なお、消防組合の共通経費の負担金の明細書という別の資料もございますので、こちらもまた後ほどごらんいただきたいというふうに思います。

それでは、143ページ、10款教育費、総額については前年度と比べて1億8,393万3,000円減の合計

5億8,856万6,000円となっております。前年度に実施をいたしましたニセコ高校屋体耐震改修工事が終了し、減額となり、後ほど説明をいたします近藤小学校屋体改修工事の実施が増額となることにより、全体としての減額が主な理由でございます。

1項教育総務費、1目教育委員会費は、目全体で前年度とほぼ同様となっております。

2目事務局費の12節役務費では、新たに通信運搬費22万8,000円の計上、総合体育館に移転した教育委員会事務局に係る電話料でございます。

3目の教職員住宅費は、145ページになります。15節の工事請負費として、教職員住宅2棟3戸分の屋根の塗装や修繕改修を行う内容により、教職員住宅改修工事を前年比21万4,000円減の263万1,000円で計上しております。

4目の教育諸費は、前年比1,044万6,000円増の1億917万7,000円の計上で、学校内インターネット環境設定業務委託料、バス借り上げ料の増額等が予算増となっております。1節報酬の外国語指導助手報酬では、前年比139万円増の703万1,000円、平成30年度の途中から外国語指導助手を1名から2名に増員しておりますが、今年度は当初から2名の体制となるため、予算額の増となっております。この関係から、4節の共済費の社会保険料も指導助手2名分として46万7,000円増の219万5,000円の計上です。7節賃金の中で臨時教諭賃金763万円を計上です。昨年度と同様、各学校の普通学級で教育支援に当たる特別支援講師を3名配置するものです。また、その下、嘱託職員賃金539万3,000円を計上、こちらは昨年度と同様、専門知識を持って一貫教育などに携わるスクールコーディネーター1名を教育委員会に配置し、継続的に活用いたします。加えて、これまで日額の賃金により臨時事務職を教育委員会に配置しておりましたが、教育行政事務の専門性が高まっていること、同時に事務の内容も多岐にわたり、その処理量もふえていることなどから、これまでの臨時事務職に加えて嘱託職として1名を業務に充てることとしております。この1名分259万3,000円が増となっております。8節報償費として、その他記念品2万円、退任する外国語指導助手1名分を計上です。9節の旅費では、外国語指導助手の任用がえに係る赴任旅費等を普通旅費として計上、146ページになりますが、また特別旅費として8万4,000円を計上しております。コミュニティ・スクール事業において、学校運営協議会委員による道内研修旅費を見込んでおります。12節役務費の手数料として前年比15万9,000円増の251万3,000円を計上、ここに新規計上したのものについては、教職員のメンタルヘルス対策として今年度から実施する教職員のストレスチェックに係る産業医派遣経費14万5,000円、各学校の教職員用パソコン更新等に伴う機器交換作業経費80万2,000円などがございます。また、新規で普通傷害保険料2万円を計上、学校運営協議会委員によるコミュニティ・スクールの諸活動や子ども議会議員による活動を保障いたします。13節の委託料として、健康診断委託料3万5,000円を新規に計上、先ほど説明いたしました教職員のストレスチェックに係る業務委託を行います。また、その下、昨年同様に外国語指導助手を各小学校で活用するための外国語教育推進業務委託料571万円を計上しております。次に、委託料の一番下、新規で学校内インターネット環境設定業務委託料521万4,000円の計上です。後ほど説明いたします小中学校へのタブレット端末の整備にあわせ、今年度はニセコ小学校内の無線通信環境を構築するものです。具体的には、無線LANアクセススポット14カ所の設置のほか、スイッチ類の設置、配線工事や通信環境設定作業を

行います。なお、次年度の2020年度にはニセコ中学校内の環境整備を進めたいと考えております。

147ページになります。上から4段目、バス借り上げ料5,879万9,000円、前年比254万1,000円の増での計上です。内訳といたしまして、小中高校分のスクールバス運行費が前年比213万4,000円増の5,239万2,000円、スキー授業や遠足など学校行事で利用するバス借り上げ代が前年比40万7,000円増の640万7,000円、合計で5,879万9,000円でございます。このうち、スクールバスの運行についてはこれまでと同様登校6路線、下校5路線で計画し、予算計上しておりますが、乗車人数が増加していること、これにより一部路線でバスの車両を大型化すること、このほか臨時便の運行もふえていることなどから、今年度は増額での予算計上となっております。引き続き効率的な運行による経費の節減に努めてまいります。18節の備品購入費としては、コンピューター機器備品、前年度比25万1,000円増の73万7,000円を計上しております。昨年度ニセコ小学校パソコン教室の教育用パソコン41台について、役場で保有していた器械を再利用することにより費用を抑えて効率的に更新することができました。今年度は、このパソコン教室や職員室にあるパソコン本体以外の古いネットワーク中継機器、合計19台を更新する内容となっております。19節のうち、一番上で北海道自治体情報システム協議会負担金は前年比21万6,000円増の217万8,000円です。昨年度に導入いたしました学齢簿システムの保守料金が追加となっております。148ページになります。19節の最後です。特別支援教育学習補助では、前年比15万3,000円増の50万9,000円を計上しております。補助事業を行う教育支援委員会において、例年の活動に加え、児童生徒の専門的な知能検査を行うことができる検査キットを購入、運用する費用が増額となっております。23節償還金利子及び割引料として、教育用コンピューター譲渡事業償還金128万4,000円を計上です。これは、これまでに整備した中学校のパソコン機器の償還及び近藤小学校の教育用タブレット端末の償還に加え、今年度ニセコ小学校で8台、ニセコ中学校で6台の教育用タブレット端末を導入するほか、各学校4校の教職員用パソコン合計86台の更新、また各学校の図書館システムパソコン4台の更新を行う内容です。これら今年度に導入または更新するパソコン機器については、北海道備荒資金組合の譲渡事業を活用し、整備を行う予定で、初年度償還金として利子分9万3,000円をこの中に計上しております。

2項小学校費、1目学校管理費は、11節需用費のうち消耗品費、前年度比30万7,000円増の250万4,000円を計上です。各小学校で使用期限が到来した消火器更新による増となっております。149ページ、一番上の印刷製本費ですが、前年比82万3,000円増の90万4,000円を計上です。小学校社会科副読本の250冊補充で82万5,000円を含んでの計上です。修繕料では前年比54万7,000円増の109万9,000円を計上、近藤小学校の浄化槽、ニセコ小学校の受水槽の修繕などを行います。13節の委託料の上から2段目、公共施設管理業務委託料を前年比26万7,000円増の445万4,000円の計上で、人件費の上昇などにより、業務単価の増を見込んだものでございます。150ページになります。委託料の上から4段目、新規で近藤小学校屋体改修工事施工監理業務委託として397万1,000円を計上です。関連がありますので、続いて15節工事請負費で近藤小学校屋体改修工事8,144万円、いずれも近藤小学校の屋内体育館について昨年度行った実施設計の内容を受け、今年度に改修工事を行うものです。改修工事の主な設計内容といたしましては、屋根や外壁の改修、玄関ポーチや外部水飲み場の改修、建物内部や床面の再塗装、窓サッシの更新などの建築工事のほか、照明器具のLED化による更新

や放送設備の更新といった電気設備工事、ボイラー設備の更新などの機械設備工事となっております。いずれも老朽化した箇所全般を改修するものですが、実施設計前に予定していなかった窓サッシ改修の追加などによりまして工事費の予算額については実施設計前の見積もり時よりも増加しております。また、本工事の財源については、国の交付金と過疎債の充当を予定しております。なお、工事内容の詳細につきましては、政策案件説明の場において別途説明をさせていただきます。続いて、その下、遊具改修工事として31万円を新規で計上です。ニセコ小学校校庭の鉄棒2本を追加いたします。また、その他営繕工事では22万9,000円の計上、ニセコ小学校の特別支援学級など校内3カ所に内線電話を追加いたします。18節備品購入費では、各小学校の業務用カラープリンターの更新や刈り払い機など作業機械の更新により、一般備品で前年比57万7,000円増の107万7,000円を計上しております。その下、教材備品として、近藤小学校での児童数増加に対応し、1輪車5台、クロスカントリースキーセット5台を補充するなど41万6,000円を計上です。

2目の教育振興費で151ページの14節の使用料及び賃借料として、スキーリフト使用料を120万2,000円計上です。各スキー場のリフト券代の値上げなどによりまして、前年比21万2,000円の増です。20節扶助費として、給付費見込みをもとに要保護準要保護児童就学援助費の扶助として38万8,000円の計上です。また、特別支援教育児童就学援助扶助38万4,000円をそれぞれ計上しております。要保護、準要保護で46人、特別支援教育で12人の給付を見込んでおります。

3項中学校費、1目学校管理費は、152ページになりますが、13節委託料では手数料で床ワックス清掃委託料、前年比46万5,000円増の58万9,000円を計上しております。今回の作業において床に張りついてしまったごみを含んだワックスについて、剥離作業を全体にわたって実施する工程を見込んでの増となっております。18節の備品購入費として一般備品49万9,000円を計上、小学校と同様に中学校の業務用カラープリンターを更新いたします。

153ページ、2目の教育振興費は、12節の役務費の手数料として2年生の芸術鑑賞会や3年生の修学旅行時の文化的活動費、これは芸術体験になりますが、それなどによりまして41万3,000円を計上しております。19節のうち、各種大会出場経費補助は、前年比9万1,000円増の99万1,000円での計上です。中体連の各種大会出場を見込んでの計上です。20節の扶助費として、給付見込みをもとに要保護準要保護生徒就学援助費扶助で288万円、特別支援教育生徒就学援助扶助15万7,000円をそれぞれ計上しております。要保護、準要保護では20人、特別支援教育で2人の給付を見込んでおります。

4項の高等学校費については、前年度ニセコ高校屋体耐震改修工事を実施したことから、前年度と比べて2億6,749万1,000円減の合計7,686万7,000円の計上です。

1目の高等学校総務費は、前年と同様の計上です。

2目の定時制高等学校管理費は、154ページになりますが、11節需用費のうち、燃料費では改修をしました体育館に暖房設備を新設したことから、その燃料使用の増加分を見込んで、前年比36万2,000円増の393万5,000円の計上です。修繕料として、前年比29万8,000円減の118万3,000円の計上です。一般修繕費のほか、農場トラクターのオーバーホールや管理車両の修繕などを見込んでおります。13節委託料のうち、公共施設管理業務委託料では前年比13万7,000円増の340万1,000円の計上、

人件費の上昇などにより業務単価の増を見込んだものでございます。その下、ボイラー点検整備委託料は、前年比9万9,000円増の19万5,000円の計上、新設した体育館ボイラー点検を新たに見込んでおります。155ページになります。15節工事請負費のニセコ高校校舎営繕工事は、前年比116万円減の167万1,000円の計上です。昨年度行いました校舎内の環境衛生検査において、機器の老朽化などから一部で照明の照度、明るさの不足が判明いたしました。これを改善するため、普通教室4教室の天井照明の一部と3階観光実習室の天井照明全体について、より照度の高いLEDの照明に交換し、環境改善を図ります。その下、ニセコ高校農場改修工事は、前年比108万円増の238万8,000円を計上しております。農場の倉庫5棟の屋根を塗装するほか、地中熱ハウス内部の保温用カーテンの劣化に伴う更新などを行います。18節の備品購入費では、一般備品56万6,000円を計上、生物工学実験室の古くて故障したエアコン1台を更新するほか、被服実習室用の洗濯機1台の更新、職員室用に扇風機4台の新設などを見込んでおります。

3目の教育振興費は、156ページになります。下段のほうの18節の備品購入費について、一般備品70万1,000円の計上です。食物調理実習室に調理実習用の食品を保管するための冷蔵庫1台の追加配置と土肥実験室に町花ラベンダーの加工品、これはラベンダースプレーですが、それを製造するためのオイル蒸留器1台及び製品保管用冷蔵庫1台を購入する内容となっております。19節については、この節全体では前年比435万9,000円増の1,501万9,000円の計上です。この増については、各種の振興事業に参加、該当する生徒の数がふえる見込みによるものが主な内容となっております。一番下の高等学校教育研究会協議会参加補助では、前年比17万4,000円増の116万3,000円の計上です。これは、教職員が参加する研修旅費などの増加となっております。157ページ、一番上の生徒通学費補助は、前年比32万2,000円増の410万9,000円、補助対象人数の増及びJRよりも運賃が割高な路線バスで通学する生徒の増加見込みによるものです。その下、海外農業、観光研修生派遣費補助45万円の新規計上です。今年度4年生に進級する生徒1名について海外での観光実習を予定しております。実習先は、連携協定先のマレーシアYTLホテルズを予定しております。その下、国内農業、観光研修生派遣費補助は、前年比46万6,000円増の66万6,000円の計上です。観光コースの3年生2名分の国内研修を予定するほか、今年度徳島県で開催される観光サミットに校内で選抜した生徒2名を派遣する内容です。なお、観光サミットは、ニセコ高校を含む全国28の高校で構成する全国高等学校観光教育研究協議会が主催をし、観光を学ぶ生徒が互いの研究や活動の成果を交流する場となっております。従来ニセコからは教員が参加しておりましたが、今年度からは生徒が本格的に参加していくものでございます。最後の高等学校修学旅行補助は、前年比292万5,000円増の601万円です。これまで同様に2年生の見学旅行をマレーシアとし、生徒の自己負担額12万円を超える分として1人当たり16万3,000円、引率教諭は12万円ほどの旅行経費を助成する内容ですが、今年度は参加生徒が昨年比14名ふえたこと、また航空券代などの交通費や現地での施設入館料などの活動費が値上がりしていることにより、予算計上額が大きくふえております。

4目寄宿舎管理費は、11節需用費、賄い材料費で前年比72万2,000円増の689万9,000円を計上です。今年度の入寮者数を前年より3名多い30名で見込み、計算しております。158ページ、13節の委託料の一番下になります。寄宿舎管理業務委託料で前年比26万8,000円増の785万円を計上です。このう

ち土日、閉寮日の管理業務委託料248万7,000円を除く平日の管理業務委託料536万3,000円について、他の施設管理業務と同様、人件費の上昇などにより業務単価の増を見込んだものとなっております。15節工事請負費として、ニセコ高校寄宿舎営繕工事は前年比255万円増の424万6,000円を計上しております。施設の適切な維持管理、また生徒の寮生活の環境改善のため、各所にひびや汚れ、損傷などが目立ってきております建物内部全体の壁紙を張りかえる工事です。14室の居室部分と食堂、洗面所や脱衣所、廊下などの共用部分を合わせて1,137平米の壁紙を取りかえます。

5項1目幼児センター費については、前年度と比較して985万1,000円減の合計7,078万8,000円となりました。7節の賃金は、臨時保育士等賃金で2,841万7,000円、臨時保育士の賃金改定等により前年度より26万1,000円を増額し、計上しております。8節報償費の講師謝礼41万7,000円のうち30万円については、こちらは新規で保育士の人材育成研修のため講師を年10回ほど派遣をいただき、幼児教育の質と子育て支援の向上を目指していきたいと考えております。9節の旅費では、159ページになりますが、一番上で新規で特別旅費32万2,000円の計上、こちらは先進的に自然環境を活用した保育を実践しております長野県の3つの施設を教員3人で視察研修を行い、今後の保育に生かしていくため、予算計上しております。11節需用費では、賄い材料費、前年比40万7,000円の増は、消費税増税を見込んで970万2,000円の計上です。160ページ、上から3段目、夜間警備保安業務委託料とその下、管理業務委託料では人件費の上昇などにより業務単価の増を見込んだものです。18節備品購入費では、一般備品、ロッカー更新により34万9,000円を計上です。19節の161ページの一番上、広域保育所市町村負担金について、昆布保育所へ2名の入所に対する広域保育所入所協定に基づく負担金24万円を計上しております。上から3段目、施設型給付費負担金は、私立の認定こども園に通うニセコ在住者分の負担金で前年比503万6,000円減の597万7,000円で、歳入として国庫負担金、道負担金と町負担金、約3分の1ずつの負担となります。上から6段目、私立の認定こども園に係る一時預かり事業を利用するニセコ在住者分の補助金で28万6,000円を計上しております。

続きまして、6項社会教育費については、前年度と比較し279万円減額の合計6,417万6,000円の計上です。

1目の社会教育総務費、8節の報償費では、放課後子ども教室安全管理者等謝礼、前年度比28万9,000円増の101万7,000円を計上しております。162ページの上から2段目、その他謝礼では、成人式のBGM演奏等謝礼として新規で3万円の計上です。9節旅費では、鹿児島県薩摩川内市への訪問事業、少年の翼セミナーの引率者4人分の特別旅費64万9,000円を計上しております。関連いたしまして、13節委託料では少年洋上セミナー、少年の翼セミナー旅行企画実施業務委託料、前年比125万1,000円増の163万6,000円を計上です。フェリーの利用から乗り継ぎを要する飛行機利用となるため、事業費が増加しております。また、新規でその他業務委託料として、西富遺跡調査業務委託料45万円を計上です。なお、平成9年度より22年間実施してきました小学4年生を対象としたニセコエアウオークヘリコプター体験搭乗事業ですが、本事業の成果、事業経費並びにかねてから学校授業時数確保への影響などの課題を踏まえ、教育委員会として学校と協議の上、総合的に検証した結果、事業を終了することに至り、平成31年度は事業費を計上してございません。163ページになります。19節の下から3段目、連合PTA事業補助、前年比10万円増の12万5,000円を計上です。隔年で

講演会を開催することによるものです。2つ下で、新規で生涯学習研修事業補助30万円、マキノ・ニセコ交流会、滋賀県高島市訪問事業補助でございます。本件は、隔年で実施するものでございます。

2目の有島記念館費では、全体で前年度比489万2,000円減の2,737万7,000円を計上しております。164ページになります。8節の報償費では、藤倉英幸氏ギャラリートーク、音楽事業出演者や講座の講師謝礼として123万6,000円を計上しております。11節需用費の消耗品では、前年度比36万2,000円増の209万4,000円を計上しておりますが、消火器や煙感知器などの消防設備の更新並びに企画展示用の消耗品の増額によるものでございます。12節の役務費では、ブックカフェコーナーの新規ワイファイ使用料、企画展の作品輸送料などによりまして、通信運搬費は前年比24万1,000円増の85万1,000円の計上となっております。165ページの委託料では、上から2段目、藤倉英幸作品関連印刷物のデータ起こしのためのパッケージ等デザイン委託料を新規で9万9,000円の計上です。14節使用料及び賃借料では、藤倉英幸作品鎌倉文学館提供絵本展に係る著作権使用料36万5,000円の計上です。166ページの15節、一番上です。工事請負費のトイレ改修工事は、トイレ棟の手すり改修工事として56万2,000円を計上しております。18節備品購入費では、史料備品として前年度比20万円増の40万円を計上いたしまして、有島武郎の関連資料のほか、美術作品、郷土資料等の収集に充てます。19節の負担金補助及び交付金では、下から4段目、有島記念館共同企画展等負担金では、平成の「生れ出づる悩み」展の負担金、有島文学館提供絵本展の負担金として前年度比40万円増の42万5,000円の計上です。また、ニセコ町鉄道文化協会負担金として100万円を計上しております。内容ですが、中央地区JRニセコ駅構内付近に保管してあるSL機関車の所有者からふるさと基金への寄附金を活用いたしまして、当該SLを初め、転車台等の保全や振興などを行う予定でございます。また、同じく鉄道文化遺産でありますニセコエクスプレスのニセコ町への移送、保管をクラウドファンディングにて行う事業も含まれております。

3目の学習交流センター費では、全体で2,136万4,000円となり、前年比53万9,000円の増額です。13節の委託料では学習交流センター運営委託料を計上しておりますが、あそぶっくへの委託料についてはスタッフの業務時間数の増加などにより、前年比25万9,000円増の1,394万円となっております。18節備品購入費では、図書備品は前年と同額の200万円を計上、あそぶっくの蔵書を購入いたします。コンピューター機器備品では、業務用パソコンの更新費用として前年度比87万7,000円増の95万8,000円を計上です。

7項の保健体育費、1目保健体育総務費、168ページになりますが、8節の報償費では、夜間スキー教室や水泳教室などの講師謝礼として84万4,000円の計上、9節旅費ではスポーツ振興くじ助成金を活用いたしました体育施設整備事業に係る協議並びに冬季北海道札幌オリンピック・パラリンピック招致活動に関する普通旅費など38万4,000円を計上しております。169ページになります。14節の使用料及び賃借料は、スキーリフト使用料に係る利用児童数並びに価格増により、前年度と比較して72万4,000円増の467万1,000円の計上です。引き続き児童生徒の健康増進とスキー技術の向上のため、シーズン券購入費用を助成する予算を計上しております。バス借り上げ料では、夜間スキー、スノーボード教室受講者の増加などにより、前年度比44万円増の177万6,000円の計上です。19節負

担金補助及び交付金では、体育協会補助266万4,000円を計上し、スポーツ少年団活動を初め各種スポーツ活動の支援を行います。ニセコマラソンフェスティバル大会補助は、前年度比20万円増の340万円を計上、今年度も参加者が安全で楽しめる大会とするために実行委員会への補助を行います。町民スポーツ大会参加交付金では、前年度比18万円増の54万円を計上し、スポーツを通じた体力の増進と地域のコミュニティーの振興を進めます。

2目の体育施設費、前年度比623万4,000円減の538万1,000円の計上となっております。予算の減額理由については、前年度において町営水泳プール屋根テント購入によるものでございます。170ページの12節役務費では、町民グラウンドの照明器具の撤去に係る機器設備撤去処分手数料38万9,000円を新たに計上です。13節委託料では、町営プール管理委託料は前年度比30万3,000円増の246万3,000円の計上となっております。15節の工事請負費では、水泳プール水道メーター設置工事88万5,000円の計上です。

続いて、3目の給食センター費は、前年度と比較して59万5,000円増額の7,374万円を計上いたしました。171ページの7節賃金において、現在4名の嘱託調理員について任用がえにより1名増員することに伴う増加や日額賃金の単価の増により、賃金全体において138万1,000円増の1,837万5,000円を計上してございます。11節需用費の修繕料は、90万5,000円の計上です。賄い材料費は、児童生徒の増加や給食日数の増加により、前年度比42万1,000円増の3,299万6,000円の計上です。13節委託料においては、学校給食配送等管理業務委託料で前年比9万1,000円増の281万3,000円を計上しております。

173ページになります。4目の総合体育館費の総額ですが、前年度比407万6,000円の増額となっております。総合体育館の維持管理に係る11節需用費については、アリーナフロアの部分修繕料として前年度比119万4,000円増の155万円を計上しております。174ページにお進みください。15節の工事請負費では、新規で総合体育館機能向上として地下オイルタンクの清掃、コーティング補強工事を実施するため、199万8,000円を計上しております。

5目の運動公園費では、ニセコ町運動公園の維持管理経費として699万3,000円を計上しております。維持管理経費として、消耗品等の需用費ほか、管理委託料を計上しております。このほか、運動公園芝管理作業用器具及びコース看板などの備品購入費65万2,000円も計上してございます。

175ページになります。11款災害復旧費、1項農林水産業施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費について、19節では本年度も補助率、農地災害で50%、用水路等の農業用施設災害で70%の小規模な農地災害等に対する農地災害復旧単独事業補助50万円を計上しております。

2項公共土木施設災害復旧費、1目土木施設災害復旧費については、災害復旧作業手数料50万円を計上です。

176ページになります。12款の公債費についてですが、4.9%、3,403万5,000円の減額となります。近年の計画的な地方債借り入れの調整により地方債残高の着実な減少が図られており、償還元金は前年度より2,917万円減額の6億1,086万6,000円の計上です。利子については、借り入れ利率の低下などにより、486万5,000円減の4,513万5,000円の計上となっております。

177ページ、13款予備費は前年度同額でございます。

次に、予算書の7ページをお願いいたします。7ページ、第2表、債務負担行為でございまして、上から、役場庁舎・防災センター建設事業として、平成32年度の限度額10億7,811万円について債務負担行為の設定でございます。次に、役場庁舎・防災センター建設工事施工監理業務委託料として、平成32年度の限度額1,270万円について債務負担行為の設定でございます。次に、北海道市町村備荒資金組合車両等の譲渡に関する条例に基づく防災資機材譲渡契約による譲渡代金、住民税の課税支援システムとして、平成32年度から35年度の4年間、それぞれの年度の限度額について債務負担行為の設定でございます。次に、北海道市町村備荒資金組合車両等の譲渡に関する条例に基づく防災資機材譲渡契約による譲渡代金、こちらは各公立学校教育用コンピューター機器備品として、平成32年度から35年度の4年間、それぞれの年度の限度額について債務負担行為の設定でございます。債務負担行為の関係ですが、189ページから191ページにかけて、これまで設定したものを含めて執行状況、今後の見込みを記載しておりますので、後ほどごらんいただきたいというふうに思います。

それでは、歳入のほうに入りますので、14ページにお進みいただきたいと思います。歳入、14ページでございます。まずは町税ですが、町税の全体は14、15ページに示してございますが、詳細については54から56ページを見ながら説明させていただきたいと思いますので、54ページをお開きください。54ページ、平成31年度町税収入見込み額を掲載してございます。左から、税目、現年課税分、滞納繰り越し分、最終的な収入見込み額の合計を記載した表となっております。町民税のうち、まず個人町民税では、給与所得者が転入増加していること、観光、不動産関係者の給与所得が伸びていること、昨年に引き続き不動産売買の譲渡所得が見込まれることにより、調定見込み額で前年度比1,733万4,000円増の2億142万9,000円、徴収率98%を見込んでおりまして、収入としては1億9,740万円を見込んでいます。また、滞納繰り越し分120万円を含めた個人町民税の総額は、前年度比1,620万円増の1億9,860万円を計上しております。その下、法人町民税は、新幹線工事事業者が増加していること、法人の所得割が増加していることにより、現年課税分調定見込み額で5,334万円、こちらは徴収率98.01%を見込んでおりまして、収入としては5,227万9,000円を見込んでいます。また、滞納繰り越し分を含めた法人町民税の総額は、前年度比1,387万9,000円増の5,228万円としております。個人と法人合わせました町民税全体では、現年課税分、滞納繰り越し分を合わせまして2億5,088万円を見込んでおります。

次に、固定資産税は、新築家屋の増加等に伴う課税増加により、純固定資産税の調定見込み額は4億6,020万5,000円、徴収率は98.50%を見込んで、収入見込み額4億5,330万円を計上いたしました。これと滞納繰り越し分を合わせた収入見込み額は、前年度比1,510万円増の4億5,380万円とこれに交付金を加えた4億5,390万2,000円を固定資産税の総額と見込んでおります。

次に、55ページの軽自動車税でございます。軽自動車税は、調定見込み額1,444万5,000円で、徴収率98.06%として、滞納繰り越し分を合わせて前年度比48万5,000円増の1,416万6,000円とこれに環境性能割を加えて1,430万円を見込んでおります。新規登録課税車両の増加と環境性能割分の増加により、増額を見込んでおります。

町たばこ税につきましては、調定、収入とも前年度比150万円増の2,950万円を見込んでおります。たばこの売り上げ本数は減少傾向にありますが、増税分の影響により増収を見込んでおります。

入湯税は、調定、収入とも前年度比88万円増の7,180万円を計上しております。宿泊者が増加していることによる増収の見込みです。

町税全体の収入見込み額は、現年分8億1,868万円と滞納繰り越し分170万2,000円、合わせて8億2,038万2,000円で、前年度比4,817万4,000円の増でございます。

それでは、16ページにお戻りください。16ページ、2款地方譲与税、1項1目地方揮発油譲与税1,500万円、それから2項自動車重量譲与税3,700万円を計上しておりますが、前年度の実績及び国の地方財政計画に基づいて計上してございます。地方譲与税総額は、前年度同額の5,200万円でございます。

17ページ、3款利子割交付金で前年度比20万円増の60万円。

続きまして、18ページ、4款配当割交付金100万円、前年度比30万円の増ですが、これまでと同様に前年度実績、それから国の地方財政計画による都道府県税収入見込み額を参考としての計上でございます。

19ページの5款株式等譲渡所得割交付金で前年度比30万円増の80万円の計上でございます。

20ページでは、6款地方消費税交付金で9,500万円、平成26年4月に消費税率の引き上げが行われましたが、その引き上げ分として4,300万円、従前からの通常分を5,200万円を計9,500万円、前年度実績等から500万円増で計上しております。なお、平成31年10月からの消費税率引き上げ分については、影響が未確定のため、見込んでおりません。

21ページ、7款ゴルフ場利用税交付金で350万円。

続いて、22ページの8款自動車取得税交付金で520万円、前年度比380万円の減の計上です。

23ページでは、新たに9款で環境性能割交付金で200万円。

24ページの10款地方特例交付金で290万円、前年度比200万円増の計上です。新たにできました環境性能割交付金について、平成31年度のみ国において減税することとしており、その減税影響分を地方特例交付金として交付されるための増額となっております。

25ページは、11款地方交付税ですけれども、普通交付税で1,000万円減の16億5,300万円、特別交付税で3,100万円増の2億800万円を計上しております。普通交付税では、国の地方財政計画により総額で1,724億円、1.1%増税のもと、本町においては収入として税収が大きく伸びていることなどから減額計上となっております。特別交付税については、地域おこし協力隊の増員やSDGs推進事業の実施などにより算定基準額が上がることから、増額を見込んでいます。

26ページ、12款交通安全対策特別交付金ですけれども、前年度比10万円増の60万円の計上です。

27ページ、13款分担金及び負担金、1項1目民生費負担金ですけれども、ニセコこども館運営費負担金で前年度と同額の515万円、第1子6,000円、60名分、第2子3,000円、10名分、試行で行う予定でございます日曜日及び祝日の利用料金47万円を見込んでおります。

2目の教育費負担金において、幼児センターの保育料、長時間型分として前年度より8名増の112名分、2,746万8,000円の保育料を計上しております。その下、広域保育所入所受け入れに係る市町村負担金として207万5,000円減の191万7,000円を計上しております。さらに、その下、一時保育料は17万6,000円増の77万6,000円、休日保育は前年同額の16万8,000円を計上しております。いずれ

も利用実績によるものです。また、滞納繰り越し幼児センター保育料、長時間型分として2万5,000円も計上してございます。

2項分担金、1目民生費分担金では、高齢者私道除雪サービス分担金で35万円の計上。

28ページになります。14款使用料及び手数料、1項1目総務使用料の町民センター使用料については実績等に基づき130万円を計上です。ニセコビュープラザフリースペース使用料は、前年と同額計上です。

2目の衛生使用料では、火葬場使用料47万円の計上。

3目の農林水産業使用料において草地使用料等、いずれも利用実績によるものでございます。

4目土木使用料の2節住宅使用料において1億1,527万4,000円でございますけれども、公営住宅使用料は入居者の所得を見込んで計上しております。

29ページになります。5目の教育使用料では86万6,000円減の1,064万3,000円ですけれども、高等学校授業料は7名増の92名で298万円、幼児センター保育料、短時間型分、前年より8名減の31名分で370万円、預かり保育料については利用回数延べ450回分の22万5,000円を計上しております。以下、利用実績によるものでございますが、3節の有島記念館、カルチャーセンター、アートギャラリー入館料については、前年同額の266万円の計上をしております。

2項手数料、1目総務手数料は大きな変動がなく、315万4,000円の計上でございます。

30ページになります。2目の民生手数料は、在宅老人支援手数料、前年比43万7,000円増の115万5,000円の計上で、歳出でも説明をいたしましたが、配食サービスを本年から週2回実施することにより、利用者の負担分を計上しております。

3目の衛生手数料は、実績に基づき2,453万2,000円の計上で、ごみ処理手数料が273万円増の2,430万円を計上しております。

4目の農林水産業手数料及び31ページの5目、6目は、前年とほぼ同額の計上となっております。

32ページになります。15款の国庫支出金で前年度比7,770万6,000円減の2億8,353万円の計上です。

1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、1節社会福祉費負担金のうち、保険基盤安定負担金では前年度比49万7,000円増の782万3,000円の計上です。その下、障害者給付費負担金は187万1,000円増の4,674万9,000円を計上しておりますが、内訳として、歳出の障害医療費給付費880万8,000円、補装具費給付費200万円、介護給付費等給付費7,970万6,000円、障害児通所及び相談給付費298万5,000円の国負担分2分の1を計上しております。また、道費にて各給付費の4分の1に当たる2,337万4,000円を計上してございます。上から3段目の2節の児童手当負担金は、67万7,000円減の5,528万9,000円を計上しております。道負担金においても計上しております。3節の児童福祉費負担金、未熟児養育医療国庫負担金は、未熟児医療費の国負担分2分の1で、昨年と同様に28万円を計上しております。こちらと同じく道負担金としても計上しております。

2目の教育費国庫負担金、1節幼児センター費負担金では、子どものための教育・保育給付費負担金として前年度比298万2,000円減の217万3,000円の計上です。歳出で説明いたしました施設型給付費負担金及び地域型保育事業の給付費負担金、国費の歳入で、道補助金としても計上してござい

ます。

2 項国庫補助金、1 目総務費国庫補助金、1 節の総務管理費補助金では、社会資本整備総合交付金で297万3,000円の新規の計上です。西富地区町民センター整備関係の補助となります。次に、通知カード、番号カード発行委託料補助金は34万円、地方創生推進交付金では前年度比939万3,000円増の1,565万4,000円の計上です。

○議長（高橋 守君） 説明を中止してください。

この際、午後2時30分まで休憩したいと思います。

休憩 午後 2時10分

再開 午後 2時28分

○議長（高橋 守君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明を続けてください。

○副町長（林 知己君） それでは、引き続き32ページの2項の国庫補助金のところになります。国庫補助金の1節総務管理費補助金の上から3段目、通知カード、番号カード発行委託料補助では34万の計上です。地方創生推進交付金では、前年度比939万3,000円増の1,565万4,000円を計上しております。歳出で説明をいたしました今後3年間実施する調査実証事業、ローカルスマート交通深化・展開事業の今年度事業費1,130万9,000円及びN I S E K O生活モデル地区構築事業基本設計策定委託料、それと木材等の域内調達率向上に向けた基礎調査委託料に係る事業費2,000万円の合計事業費3,130万9,000円の2分の1の1,565万4,000円を計上しております。

2目民生費国庫補助金では、33ページになりますが、1節社会福祉費補助金では障害者地域生活支援事業費補助金242万9,000円、2節の児童福祉費補助金では子ども・子育て支援交付金143万9,000円を計上しております。子ども・子育て支援交付金として国が3分の1、道が3分の1を負担することとなっております。

3目の衛生費国庫補助金の循環型社会形成推進交付金198万7,000円の計上で、合併処理浄化槽の整備に関する交付金で整備数15基分でございます。母子保健衛生費補助金では74万6,000円、次に新規で環境省の補助ですが、低炭素な地域づくりモデル形成事業補助金1,297万5,000円については地域新電力会社設立調査委託料1,297万5,000円に充当する補助金でございます。

4目の土木費国庫補助金で社会資本整備総合交付金として前年度比4,731万8,000円減の1億554万6,000円の計上でございます。内訳として、1節の道路橋梁費補助金については、町道羊蹄近藤連絡線歩道整備事業で1,703万6,000円、除雪事業で2,957万3,000円、橋梁長寿命化事業で1,864万5,000円、合計6,525万4,000円を計上してございます。前年に比べて608万5,000円の増額でございます。2節の住宅費補助金は、新有島団地及び望羊団地長寿命化事業で2,166万1,000円、環境負荷軽減モデル集合住宅整備事業及び住宅省エネ改修補助で877万5,000円、公営住宅家賃減免事業で672万1,000円、公営住宅長寿命化計画及び公営住宅新団地整備基本計画の策定事業で313万5,000円、合計4,029万2,000円を計上しております。前年に比べて5,340万3,000円の減額でございます。

5目の教育費国庫補助金は2,195万6,000円を計上です。2節の小学校費補助金では、学校施設環境改善交付金1,722万円、歳入において説明の近藤小学校屋内体育館改修工事における国の補助として基準額の3分の1を計上しております。4節の幼児センター費補助金では、子育て支援センターの子育て支援拠点事業、預かり事業に対する補助金、幼児センターや私立幼稚園の預かり事業としての補助金として前年度は子育て支援対策事業費補助金でしたが、31年度は子ども・子育て支援交付金427万1,000円の計上です。道補助金としても同額計上しております。

3項委託金、1目総務費委託金は、前年とほぼ同額です。

34ページの2目民生費委託金と3目の農林水産業費委託金については、前年度とほぼ同額の計上となっております。

35ページになります。16款の道支出金、1項道負担金、1目民生費道負担金で7,179万6,000円の計上です。1節の社会福祉費負担金のうち、保険基盤安定負担金では62万3,000円増で、国民健康保険事業特別会計への繰出金のうち、保険料軽減分2,466万4,000円の道負担分4分の3と保険者支援分1,564万8,000円の4分の1の2,241万円を計上しております。障害者給付費負担金では93万5,000円の増で、後期高齢者保険基盤安定負担金については道負担分4分の3の1,235万3,000円を計上しております。

2項道補助金、1目総務費道補助金、1節総務管理費補助金で1,372万4,000円です。水力発電所所在地として交付されます電源立地地域対策費交付金を531万4,000円計上しております。その下、後志総合振興局との共同事業として後志グローバル人材育成事業を実施し、これにより町内及び管内での英語教育の充実を図る事業及び新たな担い手を確保する事業を実施しております。このため、町単費である外国語指導助手の招聘に係る町単費部分の費用及び移住相談会等参加費用を合わせた595万7,000円の2分の1、290万円と統合型GIS導入に係る経費235万4,000円の2分の1、110万円を合わせた400万円を地域づくり総合交付金として計上しております。原子力防災対策交付金は、前年度と同額の計上です。

2目の民生費道補助金で1,142万5,000円を計上しておりますが、36ページの重度心身障害者ひとり親家庭等医療給付事業補助金では前年度比87万9,000円減の490万5,000円の計上です。地域づくり総合交付金74万円では、福祉灯油扶助及び通所手当に充当いたします。

3目の衛生費道補助金は、がん検診推進事業補助金等で45万1,000円を計上、前年比10万6,000円の減となっております。

次、4目の農林水産業費道補助金では、一番上で農業委員会等活動促進事業交付金は、農地利用最適化交付金の前年実績を勘案し、前年比52万5,000円増の322万6,000円にて計上しております。下から2段目、青年就農給付金は、歳入歳出同額の675万円を計上、一番下、農業者の取り組み実績に基づきまして環境保全型農業直接支払対策交付金74万5,000円を計上しております。37ページの上から3段目です。国営事業の夏期施行の所得補償として農業経営高度化促進事業補助金2,019万5,000円を計上しております。2節の林業費補助金では、町有林造成事業及び未来につなぐ森づくり推進事業の事業規模の拡大により399万円の計上です。

5目の商工費道補助金では、ハロウィン事業の財源として地域づくり総合交付金50万円を計上し

ております。

6目の教育費道補助金は、2節幼児センター費補助金では、国費でも計上いたしました子ども・子育て支援交付金の道補助金分で427万1,000円の計上、保育料軽減支援事業費補助金は39万円増の211万2,000円を計上しております。

3項の委託金、1目総務費委託金で2,258万4,000円の計上でございます。

(何事か声あり)

済みません。一部訂正をさせていただきます。先ほど6目の教育費道補助金の中で2節の幼児センター費補助金、保育料軽減支援事業費補助金、39万円増の250万2,000円の誤りでございますので、訂正をお願いいたします。申しわけございません。

続きまして、3項委託金、1目総務費委託金で2,258万4,000円の計上でございます。知事、道議会議員選挙、参議院議員選挙の実施による委託金などで、総額としては対前年比990万5,000円の増となっております。

38ページでございます。2目農林水産業費委託金、1節農業費委託金のうち、国営事業の実施に伴い北海道より委託される換地業務に係る委託金900万円を計上しております。

3目の土木費委託金は、前年度と変わりありません。

39ページになります。17款の財産収入、1項1目財産貸付収入は、2,339万8,000円の計上です。3節の物品貸付収入の光ケーブル貸付料については、町が所有する光ケーブルが6月で移管となった場合、7月以降の貸付料が減額となることを想定し、259万3,000円減の191万3,000円を計上しております。

2目の利子及び配当金で17万3,000円の計上です。

40ページになります。2項財産売払収入、1目不動産売払収入の3節立木売払収入では、町有林、峠地区8.73ヘクタールを間伐する際に搬出される丸太及びパルプ材の売り払い分121万5,000円を計上しております。

41ページ、2目の物品売払収入ですけれども、生産物売払収入はニセコ高校での鉢物や苗などに加え、ラベンダーを使ったルームスプレーの製造販売により250万1,000円を計上しております。

42ページ、18款寄附金、2目指定寄附金において、平成30年度から拡充をしましたふるさとづくり寄附金についてその歳入を昨年比200万円増の1,200万円として計上しております。

43ページの19款の繰入金で総額で4億4,232万3,000円です。平成31年度予算につきましては、これまで継続してきたまちづくりの基盤や実践をさらに充実させ、将来に向けて一人一人がみずから考え、行動する予算編成の実践をもってニセコ町らしいまちづくりを一步前進させ、町民の生活に密着し、町の持続発展に資する諸施策の推進に努める年として予算編成を行い、事業の財源として公共施設整備基金1億5,600万円、地域福祉基金約2,500万円の繰り入れを計上したほか、歳入不足額について財政調整基金1億9,000万円の繰り入れ計上により、収支の均衡を図っております。

また、ふるさとづくり基金について1,600万円の繰り入れを計上、内訳はふるさとづくり寄附制度の運用による当初予算計上の歳入寄附金1,200万円に対する歳出経費分として583万6,000円、環境保全や景観維持、自治、コミュニティ推進事業などに活用する分として1,016万4,000円となっております。

ます。

庁舎建設基金5,530万円の繰り入れについては、熊本地震の教訓から国により新たに創設した庁舎整備に係る支援制度により、対象事業費のうち起債充当されない10%については基金を活用することとされていることによる繰り入れ計上となっています。庁舎整備工事に着手するため、前年度に比べて総額4,660万1,000円の増額となっていますが、予算執行においては経費の軽減に努めまして、基金取り崩し額の圧縮を最大限図ってまいります。

45ページになります。20款繰越金は、前年と同額の4,000万円の計上でございます。

46ページ、21款諸収入、全体で1億8,433万4,000円の計上でございます。

47ページの4項受託事業収入の2目後志広域連合受託事業収入では、介護予防事業受託収入で前年度比209万1,000円減の346万5,000円、包括的支援事業・任意事業受託収入では前年度比312万3,000円増の1,060万8,000円の計上です。その下、国保の受診者の健診業務受託収入として711万1,000円の計上で、特定健診、国保人間ドック委託料や受診勧奨はがきにより、歳出同額となっております。

5項雑入、1目及び2目については、科目存置の計上でございます。

3目の納付金、社会保険料等納付金で2,853万3,000円の計上です。

4目の雑入では、全体で1億2,692万6,000円の計上でございます。一番下の2節の給食費収入において、児童生徒数では小学校全体で10人増加の見込みで、給食日数では中学校において2日から3日増加するなどから73万2,000円の増加、また平成27年度から子育て支援として実施しております第3子以降の給食費の免除については免除額として前年とほぼ同額の133万8,000円を見込みました。このことから、給食費全体では前年度より55万2,000円増の2,823万1,000円となっております。なお、食材費等については、本年度も公費負担により保護者の負担の抑制を図っております。48ページは、5節で高額療養費負担金のうち、重度身障者ひとり親家庭等医療費高額医療費国保会計一部負担金135万円で、近年の療養費の動向と実績を加味して本年は35万円の増額となっております。6節の福祉施設徴収金、養護老人ホーム対象者2名分で102万3,000円、49ページになりますが、11節において高校寄宿舎利用負担金1,143万4,000円、ニセコ高校寄宿舎の今年度入寮見込み者数を前年度から3名増の30名で計算しております。また、消費税率改定に伴い、10月から月額約200円値上げし、月3万1,200円として計上しております。14節備荒資金支消金で前年比10万円増の2,290万円、23節雑入では、上から5段目、元気な担い手育成対策事業負担金60万円は新規就農貸付金の財源としております。一番下、地域活動支援センター利用負担金では、前年比105万円増の253万7,000円です。50ページになります。上から2段目、いきいきふるさと推進事業助成金100万円は、観光コンテンツ創出事業、星空コンテンツ創出事業の財源としております。中ほどの宝くじ市町村交付金では257万1,000円、学習交流センターあそぶっくの運営財源として予定しております。その下、下水道汚泥処理負担金、処理数量236トンより前年と同額の165万6,000円を計上です。その下、資源ごみ売払収入55万1,000円、2つ下、除雪費負担金80万8,000円を計上です。下から2段目、ようてい地域広域消費生活相談窓口運営受託収入については、負担金増により22万1,000円増の434万8,000円となっております。51ページ、上から5段目、国営事業の夏期施行の所得補償として中心経営体農地

集積促進事業に係る農業事業者の負担分について促進期成会を通して徴収することとし、1,652万4,000円を計上しております。上から3段目、高校体育館利用実費徴収金2,000円を科目存置として新規計上、ニセコ高校体育館での一般利用事業開始に伴い、冬期の暖房料収入を計上です。下から2段目、広域周遊観光促進地域支援事業補助金249万円につきましては、平成30年度は商工費国庫補助金として計上いたしましたが、今年度は観光圏事業として取り扱うことでNPB、ニセコプロモーションボードを経由した歳入となります。

52ページになります。22款の1項町債、1目総務債7億830万円は、役場庁舎・防災センター整備に6億4,580万円、西富地区町民センター整備に6,250万円を充当するものでございます。

2目の衛生債では、合併処理浄化槽整備に110万円、し尿処理収集車整備事業に910万円の起債充当でございます。

3目商工債では、道の駅機能向上改修に900万円の起債を充当するものでございます。

4目の土木債では1億710万円、道路橋梁債では7,820万円で、羊蹄近藤連絡線歩道整備事業ほか4事業に充当です。53ページの住宅債では、公営住宅改善事業に2,290万円の充当、河川債ではニセコアンベツ1号川の改修事業に600万円の起債を充当するものでございます。

5目の消防債、消防自動車整備事業並びに消火栓更新整備事業に4,410万円の起債を充当でございます。

6目の教育債の学校教育債は、近藤小学校施設改修事業に6,810万円の起債充当。

7目の過疎地域自立促進特別事業債、いわゆるソフト事業に充当できる起債ですけれども、4,230万円の計上でございます。充当する事業は、コミュニティFM放送局運営経費に1,100万円、地域医療体制の確保やこども医療費、予防接種の推進等保健福祉事業に1,230万円、クリーン米推進や土づくり支援などの農業支援事業に1,000万円、学習交流センターあそぶっく運営経費に900万円を予定してございます。

9目の臨時財政対策債1億1,300万円の計上で、国の地方財政計画に基づいたものでございます。

町債合計は11億2,100万円となりますが、庁舎防災センターを別枠として除いた場合は4億5,630万円となります。

8ページをお開きください。8ページから10ページにかけて第3表、地方債であります、今ほど歳入の22款でも説明しました町債の関係、各起債の限度額、利率、償還の方法について記載されているとおりでございます。

それから、192ページをごらんいただきたいと思います。192ページは、地方債の残高に関する調書でございます。一番下の合計の右から3つ目、本年度において新たに11億210万円を借り入れ、右から2つ目、既存の元金6億1,088万6,000円を償還することにしておりまして、前年度に比較いたしまして4億9,123万4,000円の地方債残高の増を予定しているところでございます。このうち、庁舎・防災センター整備を除きますと、前年度に比較し1億5,456万6,000円の地方債残高の減を予定しているところでございます。

(何事か声あり)

失礼いたしました。今の地方債残高の表で表の右から2つ目、既存の元金6億1,086万6,000円、

私88万6,000円と申し上げましたが、6億1,086万6,000円の誤りでございます。訂正をお願いいたします。

議案第14号、平成31年度のニセコ町一般会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

続きまして、日程第22、議案第15号 平成31年度ニセコ町国民健康保険事業特別会計予算について説明をいたします。議案の1ページをお開きください。

議案第15号 平成31年度ニセコ町国民健康保険事業特別会計予算。

平成31年度ニセコ町の国民健康保険事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億1,930万円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成31年3月6日提出、ニセコ町長、片山健也。

次のページをお開きください。第1表、歳入歳出予算、歳入と歳出を2ページ、3ページと載せてございます。

4ページをごらんください。歳入歳出予算事項別明細書の総括の歳入を載せてございます。

5ページの歳出をごらんください。歳出の合計、本年度予算額2億1,930万円の財源は、その他財源、繰入金が5,584万4,000円、一般財源が1億6,345万6,000円の構成となっております。

歳出から説明いたしますので、12ページをお開きください。12ページの1款総務費については、前年比625万3,000円減の2億1,716万9,000円の計上です。

1項総務管理費の2目広域連合負担金において、後志広域連合への負担金643万6,000円減の2億1,576万4,000円を予算計上しております。減額の要因といたしましては、北海道が保険者となる都道府県化により道への納付金の額が示され、給付金額等により算出された後志広域連合負担金が減額となったことによるものでございます。

2項の徴税費は、前年とほぼ同額の計上です。

13ページの2款の保健事業費は、疾病予防費として国保簡易ドックのバス送迎負担金4万9,000円で、昨年と同様の計上です。

14ページ、3款基金積立金は記載のとおりです。

15ページの4款諸支出金、1項1目一般被保険者保険税の還付金につきましては、近年の還付金の支出実績を踏まえ、例年より19万円増額の158万1,000円を計上しております。

2目の退職被保険者等保険税還付金も同様に計上しております。

また、双方の還付金にあわせ、還付加算金をそれぞれ予算計上しております。

16ページの5款予備費は、前年同様の計上で、記載のとおりでございます。

18ページ以降の給与費明細書は、後ほどごらんください。

それでは、6ページにお戻りいただきまして、歳入でございます。6ページ、1款国民健康保険税については、現行の資産割56%を28%に引き下げることを算出しております。一般被保険者国民健康保険税1億6,315万9,000円、退職被保険者国民健康保険税24万2,000円、合わせて前年度に比較し417万8,000円減の1億6,340万1,000円の計上となっております。退職被保険者国民健康保険

税の大幅な減額は、退職者医療制度が平成27年3月末で廃止されており、この時点で制度の対象となっていた方が65歳になると一般被保険者となるため、対象者が減少しているためでございます。

8ページの2款財産収入は、記載のとおりです。

9ページの3款繰入金、1項1目一般会計繰入金については、保険税軽減分の保険基盤安定繰入金を前年対比で49万8,000円増の2,466万4,000円、2段目の保険者支援分は前年対比99万5,000円増の1,564万8,000円の計上としております。3段目の出産育児一時金等繰入金は、前年対比140万円の減でございます。理由としては、15件分を計上してはいましたが、ここ数年の実績等を勘案し、10件として一時金を計上してしております。4段目の財政安定化支援繰入金は前年対比216万1,000円の減、その下、事務費繰入金は796万7,000円を計上です。歳出で説明をいたしました後志広域連合負担金が707万7,000円減額となったことから、本年は任意繰り入れ及び基金繰り入れは行わないこととしており、前年対比222万2,000円減の5,584万3,000円を一般会計から繰り入れをいたします。

10ページの4款繰越金、12ページの5款諸収入は記載のとおりでございます。

平成31年度の国民健康保険事業特別会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

続きまして、日程第23、議案第16号 平成31年度ニセコ町後期高齢者医療特別会計予算について説明をいたします。議案の1ページでございます。

議案第16号 平成31年度ニセコ町後期高齢者医療特別会計予算。

平成31年度ニセコ町の後期高齢者医療特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,540万円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成31年3月6日提出、ニセコ町長、片山健也。

次のページから第1表、歳入歳出予算の歳入と歳出を2ページ、3ページで載せてございます。

続きまして、4ページは歳入歳出予算事項別明細書の総括の歳入を、5ページでは歳出を載せてございます。歳出の合計欄をごらんください。本年度の予算額5,540万円の財源につきましては、その他財源、繰入金等でございますが、2,041万6,000円、一般財源が3,498万4,000円の構成となっております。

それでは、歳出より説明いたしますので、12ページをお開きください。12ページ、歳出でございます。1款総務費、1項総務管理費は記載のとおりです。

2項徴収費は、前年度と比較し19万円減額の60万6,000円の計上となっております。内容としては、前年度計上してありました北海道自治体情報システム負担金の減によるものでございます。

13ページは、2款後期高齢者医療広域連合納付金においては前年度と比較し251万円減額の5,406万1,000円の計上となっており、内容としては保険料分3,486万4,000円、保険基盤安定分1,647万1,000円、共通経費分272万6,000円の内訳となります。

14ページから15ページの3款諸支出金、4款予備費については、記載のとおりでございます。

16ページの給与費明細書は、後ほどごらんください。

それでは、歳入、6ページをお開きください。歳入の6ページ、1款後期高齢者医療保険料にお

いて、本医療制度では2年ごとに保険料率を決めておりまして、保険料率は均等割額1人当たり5万205円、これは30年度と同額でございます。所得割率10.59%、これも前年度と同額、限度額62万円、これも前年度と同額となっております。保険料の軽減措置については、所得に応じた均等割の軽減がありまして、世帯状況や本人の収入状況によりまして均等割が2割から最大8.5割の保険料が軽減されます。31年度の後期高齢者医療保険料は、前年度に比較し102万1,000円減の3,488万円を計上してございます。

7ページになります。2款繰入金、1項一般会計繰入金において事務費分で374万円、保険料軽減分1,647万1,000円、合わせて前年度に比較し147万3,000円減の2,021万1,000円を計上しております。

8ページから9ページの3款繰越金、4款諸収入については記載のとおりでございます。

平成31年度の後期高齢者医療特別会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

続きまして、日程第24、議案第17号 平成31年度ニセコ町簡易水道事業特別会計予算について説明をいたします。議案の1ページをお開きください。

議案第17号 平成31年度ニセコ町簡易水道事業特別会計予算。

平成31年度ニセコ町の簡易水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億8,130万円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 地方債」による。

平成31年3月6日提出、ニセコ町長、片山健也。

次のページには第1表、歳入歳出予算の歳入と歳出、2ページと3ページでございます。

続きまして、4ページを飛ばしていただきまして、6ページには歳入歳出予算事項別明細書の総括の歳入を載せてございます。

7ページの歳出の合計をごらんください。31年度の予算額1億8,130万円の財源ですが、国、道支出金で236万5,000円、地方債で1,250万円、その他財源が169万3,000円、一般財源が1億6,474万2,000円の構成となっております。

それでは、まず歳出より説明をいたします。14ページをお開きください。歳出、14ページでございます。1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費において、給料及び職員手当、共済費では前年度と比較して24万3,000円の増額となっております。15ページの13節委託料の量水器の検針委託料は、前年度比104万4,000円増の277万2,000円、増額です。こちらについては、検針戸数の増加及び労務単価の上昇による増額です。27節の公課費では、消費税納付金546万6,000円の計上です。

16ページになります。2款管理費、1項維持管理費、1目維持管理費において、11節の需用費の修繕料ですが、配水池の滅菌装置の取りかえ、修繕など154万1,000円の計上です。下段の13節委託料の一番下、水道施設維持管理業務委託料では、水道施設維持管理の民間委託を行っているための委託料で、昨年度に長期継続契約を締結していることにより、31年度は41万8,000円減額の2,068万

2,000円の計上です。17ページの15節の工事請負費では、毎年実施しております水道の量水器、水道メーターの交換ですが、計量法において8年ごとに交換が義務づけられております。31年度は、382台分の取りかえの工事費で662万2,000円を計上しております。また、16節の原材料費の量水器の購入費用についても703万7,000円を計上しております。工事請負費の2段目、水道中央監視システム等更新工事ではOSの更新に伴うもので新たに308万円を計上、3段目の水道施設維持補修工事では例年計上しております水道本管漏水修理工事のほか、ニセコ地区の高区圧送ポンプの更新工事、市街地区の配水池の塩素タンクの更新工事、水道地区の配水池の配水流量計の更新工事、近藤地区の残留塩素計の更新工事、宮田地区の減圧弁の更新工事などを行うため、前年度より1,147万5,000円増額の2,150万1,000円を計上しております。

18ページになります。3款1項1目建設改良費において、委託料では平成32年度から実施予定の配水管更新事業に伴う実施設計、宮田地区配水管河川横断更新に伴う実施設計、市街地区の水源水量増強に対する調査業務などの水道施設の実施測量設計委託料2,333万3,000円の計上でございます。

19ページから20ページの4款の公債費、5款予備費は記載のとおりでございますが、予備費については災害や事故の際のより迅速な対応、生活水の確保対策を図るため、当初予算額100万円を計上しております。

22ページから29ページは、給与費明細書に係る調書については後ほどごらんいただきたいと思います。

それでは、歳入を8ページからで説明をいたします。歳入、8ページ、1款使用料及び手数料、1項使用料について、昨年度の実績に伴い、前年度比705万4,000円増の1億15万6,000円を見込んでおります。

9ページ、2款国庫支出金、1項国庫補助金、1目簡易水道事業国庫補助金では、236万5,000円の計上です。配水管更新工事に伴う実施設計の委託料分を見込んでおります。

10ページ、3款の繰入金、簡易水道事業特別会計の歳入歳出の均衡を保つため、一般会計より対前年比3,268万3,000円増の6,453万6,000円、繰入金の計上であります。

11ページ、4款繰越金、12ページ、5款諸収入については記載のとおりです。

13ページ、6款町債の簡易水道事業債として、配水管更新事業で1,150万円、配水施設改修事業で100万円の計上でございます。

それでは、4ページにお戻りください。4ページ、第2表、地方債であります。今ほど歳入の6款でも説明をいたしました簡易水道事業債の限度額1,250万円、起債の方法、利率、償還の方法については記載されているとおりでございます。

それから、30ページをごらんいただきたいと思います。地方債の残高に関する調書でございます。合計の右から3つ目、本年度において新たに1,250万円を借り入れ、右から2つ目、既存の元金4,849万4,000円を償還することとしておりまして、前年度に比較し3,599万4,000円の減を予定しているところでございます。

平成31年度簡易水道事業特別会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

続きまして、日程第25、議案第18号、平成31年度ニセコ町公共下水道事業特別会計予算について説明をいたします。議案の1ページでございます。

議案第18号 平成31年度ニセコ町公共下水道事業特別会計予算。

平成31年度ニセコ町の公共下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億8,500万円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 地方債」による。

平成31年3月6日提出、ニセコ町長、片山健也。

次のページをお開きください。第1表、歳入歳出予算の歳入と歳出を2ページと3ページに載せてございます。

続きまして、4ページを飛ばしていただきまして、6ページをごらんください。歳入歳出予算事項別明細書の総括の歳入を載せてございます。

7ページの歳出の合計をごらんください。31年度予算額1億8,500万円の財源は、国、道支出金が500万円、地方債で340万円、その他財源が11万9,000円、一般財源が1億7,648万1,000円の構成となっております。

それでは、まず歳出よりご説明いたします。14ページをお開きください。14ページ、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費において給料及び職員手当、共済費で、職員の昇給により前年度と比較して81万4,000円の増額となっております。

16ページまで飛んできていただきまして、2款の管理費において下から2段目、下水道汚泥収集運搬処理委託料では、労務単価及び車両損料費の上昇により、前年比52万4,000円増の198万9,000円の計上です。17ページの上から4段目、下水道管理センター維持管理委託料では、長期継続契約を行っている維持管理委託業務の委託料1,498万8,000円のほか、機械設備分解整備及び電気機器点検整備の1,000万円を合わせて149万8,000円増の2,498万8,000円を計上です。15節の工事請負費では、下水道管理センター水処理棟のシャッターの不都合により取りかえるため、修繕工事278万3,000円の計上でございます。

18ページになります。3款建設改良費において、13節委託料では今後の下水道施設の改築更新事業を行っていくためにストックマネジメントの計画の策定を行わなければならない、そのことに伴う調査業務で公共下水道事業長寿命化計画策定委託料1,150万円を計上しております。なお、計画策定業務は31年度と32年度の2年間で予定しております。公共下水道自家発電室の整備実施設計業務委託料350万円については、昨年の胆振東部地震により長時間停電したことを受け、下水道管路施設のマンホールポンプ所で汚水量が最も集中する駅構内のマンホールポンプ所に自家発電室を設けるための実施設計委託料を計上してございます。

19ページから20ページの4款公債費、5款予備費、記載のとおりでございます。

また、22ページから29ページの給与費明細書等に係る調書は、後ほどごらんいただきたいと思いますと思います。

続きまして、歳入、8ページでございます。8ページ、1款分担金及び負担金、記載のとおりでございます。

9ページの2款使用料及び手数料、使用料については52万8,000円増の3,969万円の計上。

10ページの3款国庫支出金、1項国庫補助金、1目公共下水道事業国庫補助金については、歳出で説明いたしました公共下水道事業長寿命化計画策定委託料に係る社会資本整備総合交付金500万円を見込んでおります。

11ページの4款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金、公共下水道事業特別会計の歳入歳出均衡を保つため、一般会計より対前年比857万2,000円増の1億3,674万1,000円の繰入金を計上しております。

12ページの5款繰越金は、ごらんのとおりでございます。

13ページの6款町債の公共下水道事業債として、駅構内マンホールポンプ所の自家発電整備事業で340万円の計上です。

4ページにお戻りいただきまして、4ページ、第2表、地方債であります。今ほど歳入の6款でも説明をいたしました公共下水道事業整備事業債の限度額340万円、起債の方法、利率、償還の方法について記載されているとおりでございます。

それから、30ページをごらんいただきたいと思います。30ページ、地方債の残高に関する調書でございます。一番下の合計の右から3つ目、本年度において新たに340万円を借り入れ、右から2つ目、既存の元金9,227万8,000円を償還することとしておりまして、前年度に比較して8,887万8,000円の減を予定しているところでございます。

31年度の公共下水道事業特別会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

続きまして、日程第26、議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算について説明をいたします。議案の1ページをお開きください。

議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算。

平成31年度ニセコ町の農業集落排水事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ710万円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成31年3月6日提出、ニセコ町長、片山健也。

次のページをお開きください。第1表、歳入歳出予算の歳入と歳出を2ページ、3ページに載せてございます。

4ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書の総括の歳入を載せてございます。

5ページ、歳出の合計をごらんください。31年度予算額710万円の財源は、その他財源が3,000円で、一般財源が709万7,000円の構成となっております。

歳出よりご説明いたします。10ページをお開きください。10ページは1款総務費で、記載のとおり

りでございます。

11ページ、2款管理費において、15節の工事請負費では昆布マンホールポンプ場の汚水ポンプ分解整備を行うため、農業集落排水施設整備工事で161万円の計上です。19節の昆布地区農業集落排水事業負担金については、前年より減額の166万9,000円を計上しております。

12ページから13ページの3款公債費、4款予備費は記載のとおりでございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。6ページをごらんください。歳入の6ページから7ページの1款分担金及び負担金並びに2款の使用料及び手数料については、記載のとおりでございます。

8ページの3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金、農業集落排水事業特別会計の歳入歳出の均衡を保つため、対前年比11万円減の661万6,000円を計上しております。

9ページは繰越金、記載のとおりでございます。

平成31年度農業集落排水事業特別会計予算に関する提案理由の説明は以上でございます。

以上で議案の提案理由の説明は終わります。訂正事項たくさんありまして、大変申しわけございませんでした。また、詳細については政策案件説明会で説明があるものもございますし、また特別委員会でもよろしくお願ひしたいというふうに思います。それでは、よろしくご審議をお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（高橋 守君） これをもって提案理由の説明を終わります。

◎特別委員会設置について

○議長（高橋 守君） お諮りします。

ただいま議題となっております議案第14号 平成31年度ニセコ町一般会計予算の件から議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算までの件6件については、議員全員による委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第14号 平成31年度ニセコ町一般会計予算の件から議案第19号 平成31年度ニセコ町農業集落排水事業特別会計予算までの件6件については、議員全員による委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。

◎休会の議決

○議長（高橋 守君） お諮りします。

議事の都合により、3月8日から3月11日までの4日間休会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

よって、3月8日から3月11日までの4日間休会することに決しました。

◎散会の宣告

○議長（高橋 守君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれにて散会します。

なお、3月12日の議事日程は当日配付いたします。

本日はどうもご苦労さまでした。

散会 午後 3時35分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 高 橋 守 (自 署)

署 名 議 員 木 下 裕 三 (自 署)

署 名 議 員 浜 本 和 彦 (自 署)